ワイヤレスバーコードリーダー

CM-520W1

取扱説明書

Ver.K

はじめにお読み下さい

株式会社エイポック

www.a-poc.co.jp

・製品の仕様および本書は改良のため予告無く変更される場合があります。
・本書に記載されている他社製品名は、各社の商標または登録商標です。
・本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

目次

おことわり／取り扱い上の注意 ····· 4
第1章　はじめに ····· 8
第2章　セットアップ ····· 10
第3章　バーコードの読み取り ····· 12
第4章　日時の設定 ····· 16
第5章　３つのモード　切替と固定 ····· 17
第6章　ケーブルモード　設定と使い方 ····· 20
第7章　メモリモード　設定と使い方 ····· 21
第8章　BT モード(Bluetooth ワイヤレスモード)　設定と使い方 ····· 27
第9章　メンテナンス ····· 39
第10章　困ったときは ····· 40
第11章　仕様 ····· 41
第12章　出荷時の初期設定一覧、コード ID 一覧 ····· 42
第13章　設定の方法 ····· 53
第14章　設定メニュー ····· 60
- 14-1 初期化、設定中止、バージョン情報 ····· 60
- 14-2 スキャナの操作 ····· 61
- 14-3　動作設定　キーボード設定 ····· 62
- 14-4　動作設定　モード固定 ····· 63
- 14-5　動作設定　ボタンの設定 ····· 64
- 14-6　動作設定　スキャナ本体の日時設定 ····· 65
- 14-7　動作設定　日時の転送時設定 ····· 66
- 14-8　動作設定　メモリモードの動作 ····· 67
　　メモリモードの動作（続き） ····· 68
- 14-9　動作設定　BTモードの動作 ····· 69
- 14-10　動作設定　スキャニング ····· 70
　　スキャニング（続き） ····· 71
- 14-11　動作設定　ブザー　オン/オフ ····· 72
- 14-12　動作設定　ブザー　音量 ····· 73
- 14-13　動作設定　バイブレータ ····· 74
- 14-14　動作設定　プリアンブル／プリフィックス／サフィックス／ポストアンブル ····· 75
- 14-15　動作設定　コードタイプ／コードID／桁数 ····· 76
- 14-16　動作設定　アルファベット大文字小文字の変換／制御文字 ····· 77
- 14-17　読取設定　UPC-A ····· 78
- 14-18　読取設定　UPC-E ····· 79
- 14-19　読取設定　EAN-13 / JAN-13 ····· 80
- 14-20　読取設定　EAN-8 / JAN-8 ····· 81
- 14-21　読取設定　Code 39 ····· 82
- 14-22　読取設定　Interleaved 2 of 5 ····· 83
- 14-23　読取設定　Industrial 2of 5 ····· 84
- 14-34　読取設定　Matrix 2 of 5 ····· 85

・ 14-25　読取設定　Codabar / NW7 ····· 86
・ 14-26　読取設定　Code 128 ····· 87
・ 14-27　読取設定　Code 93 ····· 88
・ 14-28　読取設定　Code 11 ····· 89
・ 14-29　読取設定　MSI ····· 90
・ 14-30　読取設定　Plessey ····· 91
・ 14-31　読取設定　Telepen ····· 92
・ 14-32　読取設定　GS1 Databar Omnidirectional ····· 93
・ 14-33　読取設定　GS1 Databar Limited ····· 94
・ 14-34　読取設定　GS1 Databar Stacked ····· 95
・ 14-35　読取設定　GS1 Databar Expanded ····· 96
・ 14-36　読取設定　GS1 Databar Expanded Stacked ····· 97

第 15 章　保証と修理 ····· 98
付録 A　サンプルバーコード ····· 99
付録 B　英数メニュー ····· 100

改訂履歴

Ver.A	・初版発行
Ver.B～Ver.I	・誤植の訂正、追記等
Ver.J	・改訂履歴を追記 ・メモリモードの蓄積件数を訂正。誤：JAN13 で 18,400 件蓄積、正：JAN13(13 桁)で 131,008 件蓄積 ・ブザーと LED の意味、メモリモードでメモリ容量がいっぱいになるときの通知を追記 ・メモリモードのデータ転送メニュー、消去メニューを改訂 ・UPC-A の設定に「EAN 13 / JAN 13 に強制変換」を追記
Ver.K	・モード切替の新バーコードメニューを追記（5-3、5-4、14-2）。 ・製品仕様の動作確認 OS に Windows 10 を追記 （注）ファームウェアバージョン 0001-0025 にて Windows10 および USB3.0 向けの調整を実施

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

おことわり

- 本製品を正しく使用するために、必ず本書をお読みになり内容をご理解いただいた上でご使用ください。本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

- 本製品はすべてのUSBまたはBluetoothを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべての USB を用いた機器との動作保証をするものではありません。ご使用にあたっては、USB または Bluetooth を用いた機器の動作条件と接続の可否情報を各メーカーまたは取り扱い元にご確認ください。

- 読み取りはバーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。

取り扱い上の注意

ここには、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しております。

警告表示の意味

危険	絶対に行ってはいけない事項。この表示の注意を守らないと、使用者が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じる恐れがあります。
警告	厳重に守って頂きたい事項。その指示に従わないと、生命の危険または重症を負う恐れがあります。
注意	安全上、特に注意していただきたい事項。その指示に従わないと障害を負う恐れ、または物的損害を引き起こす可能性があります。

絵記号の意味

警告	この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。
注意	この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

危険

本製品を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないで下さい。また、本製品を加熱したりしないで下さい。
破裂、発火や火傷の原因となります。

本製品から漏れ出た液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。
目に障害を与える恐れがあります。

本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルまたは本製品専用の充電アダプタを使用してください。

プラグ、ジャックの端子をショートさせないで下さい。
発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやヘヤピンなどの金属製品と一緒に携帯・保管しないで下さい。

直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くで使用または放置をしないで下さい。
破裂、発火や火傷の原因となります。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないで下さい。
発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、許可なく本製品のシールやカバーをはずした場合、修理をお断りする場合があります。

警告

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。

煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。与えてしまったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。

接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用下さい。
付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なる場合があります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因にもなります。

読み取り窓から出る赤い光を直接目でのぞき込まないで下さい。
目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。

読み取り窓から出る赤い光を人の目に向けないで下さい。
目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。

風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないで下さい。
火災になったり、感電する恐れがあります。

濡れた手で本製品に触れないで下さい。、
パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因になります。また、コンセントに接続されていなくとも故障の原因になります。

小さなお子様が電気製品を使用する場合は、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導の下で行うようにして下さい。

プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。
そのまま使い続けると、火災、感電の原因となります。

注意

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各説明書をよく読んで、各メーカーが決める手順に従ってください。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにして下さい。
人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損される恐れがあります。

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスクなど）のデータをすべて CD-ROM など外部の記憶装置にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

次の場所には設置しないで下さい。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
- 強い磁界が発生するところ、静電気が発生するところ
- 温度、湿度が製品の説明書が定めた使用環境を超えるところ、または結露するところ→故障の原因となります
- 振動が発生するところ→けが、故障、破損の原因となります
- 平らでないところ→転倒したり、落下したりしてけがや故障の原因となります
- 直射日光が当たるところ、火気の周辺、または熱気のこもるところ→故障や変形の原因となります
- 漏電または漏水のあるところ→故障や感電の原因となります

シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないで下さい。製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。
条例については、各地地方自治体にお問い合せ下さい。

法令準拠と注意

この装置は FCC 規制パート 15 に適合しています。この装置は次の 2 つの条件に従って動作するものとします。
(1)本製品によって、有害な干渉が発生することはない。
(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

本製品は FCC 規制のパート 15 に従い、クラス B デジタル機器の制限に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザー側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

- 受信アンテナの位置や方向を変える
- 装置と受信機の距離をとる
- 装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
- 経験のあるテレビ･ラジオの技術者に相談する

電波に関する注意

- **本製品は、電波法で定められた 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けた製品を内蔵しています。**
  従って、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません
- **本製品は、技術基準適合証明を受けた製品を内蔵していますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。**
  - 本製品を分解・改造すること
  - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- **本製品は、次の場所で使用しないで下さい。**
  - 電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生するところ、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります）
  - 人命に関わる医療用機器の近く
- **本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。**
  - 産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
    1.構内無線局（免許を要する無線局）
    2.特定省電力無線局（免許を要しない無線局）
  - 無線 LAN 製品
- **本製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。**
  - 本製品を使用する前に、必ず本製品の干渉距離内に移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。
  - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	FF-SS 方式
想定干渉距離	100m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ構内無線局および特定省電力無線局の帯域を回避不可

⚠ バッテリーの注意

- **本製品は、リチウムイオンポリマーバッテリーを使用しております。体積エネルギー密度 400Wh/L 以下です。**
  従って、電機用品安全法が定める PSE マークは必要ありません。

- **はじめに、バッテリーを満充電して下さい。**
  - 満充電になるまで約 4 時間です。
  - 満充電になると、充電通知 LED が赤の点灯から点滅になります。
  -

- **バッテリーは定期的に充電して下さい。寿命がくるのを防ぎます。**
  - 3 ヶ月以上、使用・充電せずに放置すると、バッテリーの特性により劣化、液漏れなど不良が生じます。

- **バッテリー使用回数の目安は次の通りです。**
  - Bluetooth モード　8,000 回（5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オン、ブザー・オン）
  - Bluetooth モード　15,000 回（5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オフ、ブザー・オン）
  - メモリモード　18,000 回（5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オフ、ブザー・オン）

- **販売元のサポートなしで、バッテリーの交換を行わないで下さい。**
  お客様ご自身でバッテリー交換のため分解等を行うと、破損・故障の原因になります。

- **充電中、赤いランプが高速で点滅したら、バッテリーの寿命です。**
  - すみやかに充電を中止して下さい。
  - 弊社または販売店にバッテリー交換修理をご依頼下さい。バッテリーの交換は有償となります。

- **バッテリーが液漏れしていたら、直接手で触れたり、目に入らないようにして下さい。**
  万一、バッテリー液に直接触れた場合はすみやかにきれいな水で洗い流し、医師に相談して下さい。

第 1 章　はじめに

1-1 本書について

本書では、ワイヤレスバーコードリーダーCM-520W1 の操作方法について一般的な情報を説明します。

1-2 製品の特徴

CM-520W1（以下、本製品またはスキャナ）はバーコードの読み取りおよび入力装置です。

- 小型サイズ、高性能な読み取り性能
- ３つのモードに対応
  ①ケーブルモード･･･USB ケーブルバーコードスキャナになります
  ②メモリモード･･･蓄積式バーコードスキャナになります
  ③Bluetooth ワイヤレスモード･･･無線式バーコードスキャナになります
- 大きなブザー音（オンオフ、大小の調節可能）
- バイブレータ搭載（オンオフ可能）
- 大容量メモリ 4MB、JAN13(13 桁)を 131,008 件蓄積可能
- マスストレージモードに対応、USB メモリのように蓄積データを取り出せる
- Bluetooth 無線技術を搭載、通信距離は見通しで 100m

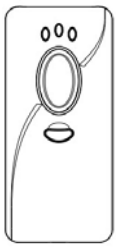
略称について　以下、本書ではモードを略称で表記している場合があります。

モード	略称
ケーブルモード	ケーブル
メモリモード	メモリ
Bluetooth ワイヤレスモード	BT、BT モード

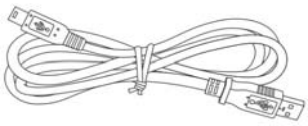
1-3 付属品　付属品がそろっていることを確認してください

CM-520W1(スキャナのみ)の付属品

□CM-520W1



□USB ケーブル



□ストラップ

□かんたんガイド(簡易説明書)

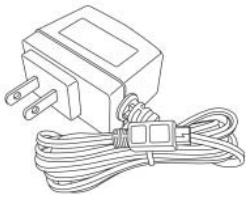
CM-520W1-S(セット品)の付属品

□左記の付属品
□USB ドングル A-302

ご案内　本書の印刷物は付属しておりません。ホームページからのダウンロードでの提供となります。

別売オプション

□AC アダプタ SYS1196-0605-W2



□シリコンカバー　H-500

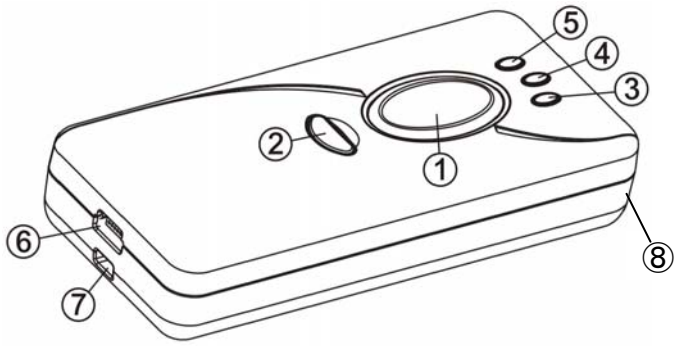
1-4 別途ご用意下さい

- 利用可能な USB ポートがあるパソコン
- 利用可能な Bluetooth に対応した機器（Bluetooth HID プロファイル対応であること）

ご注意　本製品はすべての機器との動作を保証するものではありません。

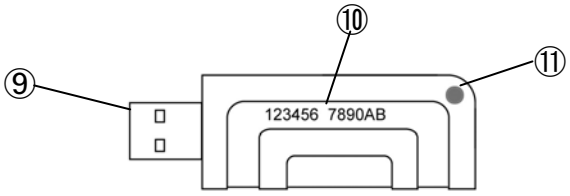
1-5 各部の名称

スキャナ本体　CM-520W1



①	大ボタン （スキャンボタン）	バーコードを読み取る。
		長押しでモード切替。
		転送モードに入った後、押すと蓄積データを転送する。
②	小ボタン	ケーブルモード/BT モード時、長押しで蓄積データの転送モードに入る。
		BT モード時、長押ししながら大ボタンを押すとペアリングモードに入る。
③	パワー通知 LED（赤）	点灯：充電中。
		点滅（2 秒に 1 回）：満充電。
		高速な連続点滅：バッテリー寿命、または異常。すみやかに充電を中止して下さい。
④	読取通知 LED （緑/オレンジ/赤）	緑：読み取り成功。 ※メモリモードで読み取ったとき、メモリ容量が少ないと色が変わってお知らせします。 通常は緑→オレンジ（容量が残り少ない、90%蓄積）→赤（容量がいっぱい、100%蓄積）
		オレンジ：転送モードに入っている。
		赤：蓄積データの消去。または読み取りエラー。
⑤	モード通知 LED （緑/オレンジ/青）	緑：ケーブルモード。
		オレンジ：メモリモード。
		青：BT モード。
		赤→オレンジ→緑の３色に変化：設定中
⑥	USB ポート	USB ケーブルを接続する。充電、データ転送する。
⑦	ストラップ穴	ストラップを取り付ける。
⑧	読取窓	エイマー（読み取り光）を照射する。

専用 USB ドングル A-302　（注）ドングル付きセット品の付属品



⑨	USB コネクタ	パソコンの USB ポートに接続する
⑩	MAC アドレス	12 桁の英数字(半透明のケース内の文字)
⑪	LED(青)	点灯→スキャナとワイヤレス接続中

第 2 章　セットアップ

2-1　製品の取り出し

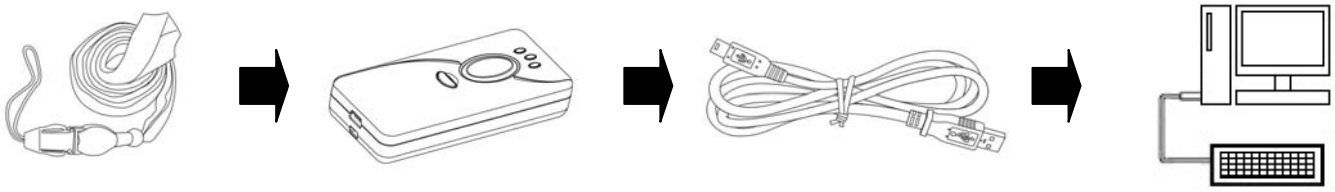
箱から製品を取り出したら、次のことを確認して下さい。

- 製品に破損が無いことを確認する。破損があった場合はすぐに弊社へお知らせ下さい。
- 不足しているものがないか確認する。
- 保管や返送時のために、箱は保管する。

2-2　スキャナのセットアップ

スキャナにストラップを取り付けてください。落下防止のため、ストラップをご使用下さい。

USB コネクタをパソコンの USB ポートに接続して下さい。パソコンが自動でドライバをインストールしセットアップが完了します。



2-3　充電して下さい

スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続し、充電して下さい。満充電になるまで約 4 時間です。

●充電中は、パワーLED（赤）が点灯します。
●満充電になると、パワーLED（赤）が点滅になります。

ご注意　充電したとき、パワーLED（赤）が高速で連続点滅した場合、バッテリー寿命、または異常が発生しています。すみやかに充電を中止し、弊社または販売店にご相談下さい。

2-4　最初に設定して下さい（キーボード配列の設定）

はじめて使うときは、スキャナで下記の設定メニュー1～4 を順に読み取り設定して下さい。
スキャナの大ボタンを押し、エイマー（読み取り光）をバーコードに照射すると読み取ります。

1.設定開始

2.ケーブルモード/メモリモード用の設定

ケーブル/メモリ キーボード配列　日本キーボード

3.BT モード用の設定　Bluetooth 接続する機器を選択して下さい　（使用しないなら省略）

ドングル付きセット品 / Windows タブレット	iOS (iPad,iPhone) / Android 4 以上
BT キーボード配列　日本キーボード	BT キーボード配列　英語キーボード

4.設定終了

メモ　この設定は、：や＋など記号を正しく転送するために設定します。

2-5　よく使う設定（Enter･Tab･なし）

・　出荷時のスキャナはデータの終端に Enter（エンター、改行）を転送します
・　Enter を Tab（タブ）、または無しに変更する場合は、スキャナで下記の 1～5 の設定メニューを上から順に読み取り、設定を変更して下さい。

1.設定開始

2.ケーブルモードか BT モードを選択（モード別、ポストアンブルのデータ）

ケーブルモード	BT モード

3.Enter、Tab、なしを選択

Enter(改行)※出荷時設定	Tab(タブ)	無し
0 D	0 9	0 0

4.セット

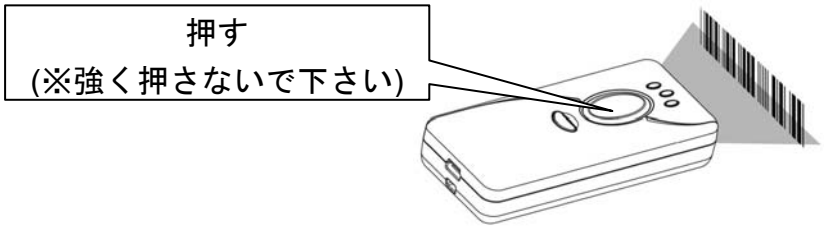
5.設定終了

メモ　詳しくは「第 13 章 設定の方法」「第 14 章 設定メニュー」をお読み下さい。

第 3 章　バーコードの読み取り

3-1　バーコードの読み取り方

1) 大ボタンを押して下さい。
2) エイマー（読み取り光）をバーコードに照射して下さい。 スキャナがバーコードを読み取ります。



ご注意　ボタンは無理に力を入れて強く押さないで下さい。

メモ　エイマーが完全にバーコードを横切るように照射して下さい。

3-2　ブザー

スキャナはバーコードを読み取ると、ブザーが鳴ります。出荷時は、最大のブザー音量です。
ブザーの音量は小さく設定できます。
ブザーは、スキャナのモード・動作ごとに設定します。

- ブザーのオン/オフは第 14 章 14-11 の設定メニューを読み取って設定して下さい。
- ブザーの音量は第 14 章 14-12 の設定メニューを読み取って設定して下さい。

例　BT モードのすべての動作の音量を小にする

設定開始→(ブザーの音量/BT)読み取り　小→警告　小→機能操作　小→設定終了

3-3　バイブレータ

スキャナはバイブレータの振動で読み取りを確認することができます。
バイブレータはオフに設定して出荷しています。
バイブレータは、スキャナのモード・動作ごとに設定します。

- バイブレータの設定は第 14 章 14-13 の設定メニューを読み取って設定して下さい。

例　メモリモードのすべての動作のバイブレータをオンにする

設定開始→(バイブレータ/メモリ)読み取り　許可→警告　許可→機能操作　許可→設定終了

例　メモリモードのすべての動作のバイブレータをオフにする

設定開始→(バイブレータ/メモリ)読み取り　禁止→警告　禁止→機能操作　禁止→設定終了

メモ　バイブレータをオフにすると、バッテリーの持ちがよくなります。

メモ　バイブレータはオフに設定して出荷しています。初期化すると許可(オン)になります。

3-4　ブザーと LED の意味

各モードのブザーと LED

スキャナの動作は、ブザーと LED で通知します。ケーブル、メモリ、BT それぞれのブザーと LED については、次の通りです。

ケーブルモード

機能、操作	ブザー	LED	
ケーブルモードになった時 ・PC とケーブル接続する	上昇下降メロディー、1 回の長音	赤・点灯→点滅(満充電)	パワーLED
ケーブルモードで使用中	-	緑・点滅	モード LED
バーコード読み取り	1 回の短音	緑・点灯	読取 LED
蓄積データ転送モードに入る			
小ボタン長押し ↓	3 回の短音（ピピピ） ↓	緑・高速点滅 ↓	モード LED
長押し続ける ↓	1 回の長音（ピー） ↓	緑・点灯 ↓	モード LED
ボタンをはなす ↓	1 回の長音、2 回の短音（ピーピピ） ↓	オレンジ・点灯(間欠点滅)	読取 LED
蓄積データ転送する 大ボタンを押す	1 回の長い高音、転送後、1 回の長い低音（ピー・・・・ピー）	消灯	

メモリモード

機能、操作	ブザー	LED	
メモリモードになった時 ・PC から取り外す ・BT からメモリに切り替える	上昇メロディー	オレンジ・点滅 （使用中、常に点滅します。しばらくするとスリープし、消灯します）	モード LED
メモリモードで使用中	-		
バーコード読み取り（成功）	1 回の短音＋短い上昇音(ピピロロロ)	緑・点灯	読取 LED
バーコード読み取り（エラー）	5 回の短音（ピピピピピ）	-	
蓄積データ 1 件消去 小ボタン押しながら読み取り	1 回の長音、2 回の短音（ピーピピ）	緑・点灯	読取 LED
蓄積データすべて消去			
小ボタン長押し ↓	3 回の短音（ピピピ） ↓	オレンジ・高速点滅 ↓	モード LED
小ボタン長押ししながら 大ボタンを押す	3 回の長音（ピーピーピー）	赤・点灯→すぐ消灯	読取 LED
メモリ容量が残り少ない （容量の 90%まで蓄積した）	1 回の長音と 2 回の短音（ピーピピ）	オレンジ・点灯 ※通常は緑→オレンジになる	読取 LED
メモリ容量がいっぱいになった （容量が無く読取できない）	5 回の短音（ピピピピピ）	赤・点灯 ※オレンジ→赤になる	読取 LED
BT モードに切替			
大ボタン長押し ↓	3 回の短音（ピピピ） ↓	オレンジ・高速点滅	モード LED
押し続ける	1 回の長音（ピー） (次にボタンを離すと BT になる)	オレンジ・点灯	モード LED

3-4　ブザーと LED の意味（続き）

BT モード

機能、操作	ブザー	LED	
BT モードに切り替えた時 ・PC から取り外す ・メモリから BT に切り替える	3 回の短音＋1 回の長音（ピピピ　ピー）	青・点滅	モード LED
バーコード読み取り（成功）	1 回の短音(ピ)	緑・点灯	読取 LED
バーコード読み取り（エラー）	4 回の短音（ピピピピ）	赤・点灯	読取 LED
蓄積データ転送モードに入る			
小ボタン長押し ↓	3 回の短音（ピピピ） ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
長押し続ける ↓	1 回の長音（ピー） ↓	青・点灯 ↓	モード LED
ボタンをはなす ↓	1 回の長音、2 回の短音（ピーピピ） ↓	オレンジ・点灯(間欠的に点滅)	読取 LED
蓄積データ転送する 大ボタンを押す	1 回の長い高音、転送後、1 回の長い低音（ピー・・・・ピー）		
ペアリングモードに入る			
小ボタン長押し ↓	3 回の短音（ピピピ） ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
小ボタン長押ししながら 大ボタンを押す	3 回の短音が 2 回（ピピピ、ピピピ）	青・低速点滅	モード LED
(デバイスのペアリング画面に出た[SmartBt]をタップ)	上昇メロディー	青・低速点滅	モード LED
ペアリング完了	下降メロディーと 2 回の短音（ピピ） ※バージョン 0001-0015 以下は 4 回の短音（ピピピピ）	青・点灯	モード LED
Bluetooth 接続成功	2 回の短音(ピピ)	青・点灯	モード LED
Bluetooth 接続中(使用中)	-	青・点灯(間欠的に点滅)	モード LED
Bluetooth を切断する			
小ボタン長押し ↓	3 回の短音（ピピピ）	青・高速点滅	モード LED
ボタンを離す	-	-	
メモリモードに切替			
大ボタン長押し ↓	3 回の短音（ピピピ） ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
押し続ける	1 回の長音（ピー） (次にボタンを離すとメモリになる)	青・点灯	読取 LED

3-4　ブザーと LED の意味（続き）

すべてのモード

機能、操作	ブザー	LED	
設定開始読み取り	上昇メロディー		
設定中	-	赤→オレンジ→緑の繰り返し点灯	モード LED
設定メニュー読み取り（成功）	高低（ピロ）	-	-
設定メニュー読み取り（エラー）	5 回の低い短音（ピピピピピ）	-	-
設定メニュー読み取り 次に英数メニューが必要	高低高低（ピロピロ）	-	-
英数メニュー読み取り	2 回の短音（ピピ）	-	-
セット読み取り	短い上昇メロディー	-	-
設定終了読み取り	下降メロディー	-	-

第 4 章　日時の設定

4-1 日時の設定

スキャナのタイマーの日時を設定します。必要な場合、設定して下さい。

設定は、設定専用のバーコードメニュー（以下、設定メニュー）を読み取って設定します。

設定開始から、順に読み取って下さい。

設定開始

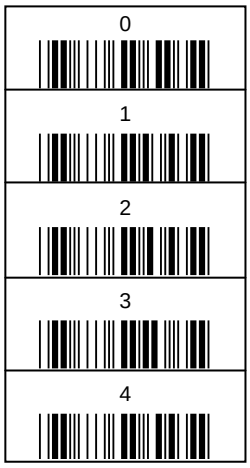
日時の設定

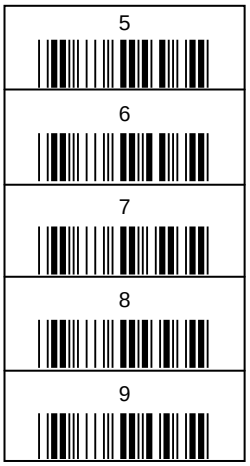
＊ Z C L K ＊

右の数字メニューで、年月日時分秒を読む

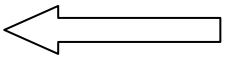
例：2015 年 08 月 17 日 13 時 25 分 00 秒

メニュー：1,5,0,8,1,7,1,3,2,5,0,0





セット



以上で設定終了

（日時は設定終了が不要）

4-3 読み取り日時の転送

スキャナはバーコードを読み取ったときに、読み取りデータとともに日時を転送することができます。

第 14 章 14-7 の設定メニューで設定してください。

メモ　メモリモードの日時転送の詳細は、第 7 章 7-7 をお読み下さい。

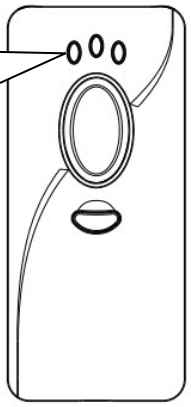
第５章　３つのモード　切替と固定

5-1 スキャナのモードを知る

本製品はケーブルモード、メモリモード、Bluetooth ワイヤレスモードの３つのモードがあります。

左の LED の色で、スキャナのモードを知ることができます。

左の LED
緑（点滅）：ケーブル
オレンジ（点滅）：メモリ
青（点滅）：BT



メモ　メモリモード、BT モードのとき、LED はしばらくするとスキャナがスリープして消灯します。
何かボタンを１回押すと電源が入り、点滅し始めます。

5-2 ケーブルモードに切り替える

スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。自動的にケーブルモードに切り替わります。

メモ　スキャナから USB ケーブルを取り外すと、パソコンに接続する前のモード(メモリか BT)に戻ります。

5-3 メモリモードに切り替える

1)　スキャナをパソコンから取り外して下さい。オレンジが点滅するなら、メモリモードです。そのままお使い下さい。

2)　青が点滅するなら、BT モードです。設定メニューかボタンでメモリモードに切り替えて下さい。

●設定メニューで切り替える方法

次の設定メニューを読み取って下さい。

設定開始

メモリモードへ切替

エラー音(ブザー5 回)が鳴った場合、すでにそのモードです。設定終了を読み取って下さい。

設定終了

●ボタンでメモリに切り替える方法

大ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。まだ長押しして下さい。青の LED が高速で点滅します。

しばらく待つと長いブザーが 1 回なります。青の LED が点灯します。

ボタンから手を離して下さい。メモリモードになります。

5-4 BT モードに切り替える

1)　スキャナをパソコンから取り外して下さい。青が点滅するなら、BT モードです。そのままお使い下さい。

2)　オレンジが点滅するなら、メモリモードです。設定メニューかボタンで BT モードに切り替えて下さい。

●設定メニューで切り替える方法

次の設定メニューを読み取って下さい。

設定開始

BT モードへ切替

エラー音(ブザー5 回)が鳴った場合、すでにそのモードです。設定終了を読み取って下さい。

設定終了

●ボタン操作で BT に切り替える方法

大ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。まだ長押しして下さい。オレンジの LED が高速で点滅します。

しばらく待つと長いブザーが 1 回なります。オレンジの LED が点灯になります。

ボタンから手を離してください。BT モードになります。

追記 モード切替の新バーコードメニュー

注 読むとモードが切り替わります。「設定開始」は不要です。ファームウェアバージョン 0001-0024 以上が対応します。上記の従来のメニューも使えます。

メモリモードへ切替

BT モードへ切替

5-5 モードを固定する

スキャナのモードを固定することができます。モードを固定すると、誤ってモードを切り替えてしまうことを防ぎます。

設定開始→モードを選択→設定終了を読み取って下さい。

通常は下記の 3 種類から選択して下さい。

設定開始

ケーブル＋メモリ＋BT(出荷時)

設定終了

ケーブル＋メモリ

ケーブル＋BT

下記の設定をすると、ケーブルモードが使えなくなります。USB ケーブルでデータ転送できません。

USB ケーブル接続時は充電のみ行います。

「BT」を設定すると、USB ケーブルで充電しながらワイヤレススキャナとして使用できます。

メモリ(ケーブル/BT 禁止)

BT(ケーブル/メモリ禁止)

メモリ＋BT(ケーブル禁止)

第 6 章　ケーブルモード　設定と使い方

6-1 キーボード配列の設定（キーボード/メモリ共通）

次の設定メニューを読み取って下さい。初回のみ必要です。

設定開始 ⇨ ケーブル/メモリ　日本キーボード ⇨ 設定終了

6-2 バーコードを読み取る

1) スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。ケーブルモードになります。緑の LED が点滅します。

2) データを入力するアプリケーションを立ち上げて下さい（メモ帳などでお試し下さい）。

3) バーコードを読み取って下さい。アプリケーションのカーソルがある場所に読み取りデータを転送します。

ご注意　パソコンの言語バーは直接入力に設定して下さい。

パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし[直接入力]を設定して下さい。
直接入力が無い場合は下記のように設定して下さい

言語バー（「あ」「A」などを)右クリック→[プロパティ]→([詳細設定]→[全般]タブ)→[編集操作]→[直接入力を使用しない」のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーを右クリック→[直接入力]を選択する。
※パソコンにより設定は異なります。

6-3 充電オン/オフ

スキャナはパソコンに接続すると、自動的にスキャナのバッテリーを充電します。

充電はオン/オフすることができます。

●設定メニューで充電オン/オフする

次の設定メニューを読み取って下さい。充電中に読み取ると充電オフになり、充電オフのときに読み取ると充電オンになります。

設定開始 ➡ 充電オン/オフ

●ボタン操作で充電オン/オフする

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。緑の LED が高速で点滅します。

小ボタンを長押ししたまま、大ボタンをを押して下さい。

スキャナが充電中（充電オン）なら充電オフになります。スキャナが充電オフなら充電オンになります。

第７章　メモリモード　設定と使い方

7-1　キーボード配列の設定（キーボード/メモリ共通）

1)　スキャナをパソコンから取り外して下さい。

2)　メモリモードに切り替えてください。（メニュー読み取り、又は、大ボタン長押しで切替、詳細は第●章）

設定開始

メモリモード

エラー音(ブザー5 回)が鳴った場合、すでにそのモードです。
設定終了を読み取って下さい。

設定終了

3)　次の設定メニューを読み取って下さい。初回のみ必要です。

設定開始

ケーブル/メモリ　日本キーボード

設定終了

7-2　バーコードを読み取る

1)　メモリモードになっていることを確認して下さい。メモリならオレンジの LED が点滅しています。

2)　バーコードを読み取って下さい。ブザーが鳴り、バーコードデータを蓄積します。

7-3　２度読み防止の設定

同じデータを読み取らないように設定できます。

設定開始→２度読み防止　許可→設定終了を読み取って下さい。(禁止を設定すると同じデータを読みます)

設定開始

２度読み防止　許可

＊Ｃ０２０１＊

設定終了

２度読み防止　禁止

＊Ｃ０２００＊

7-4 蓄積データを１件消去する

読み間違ったときは、小ボタンを押しながら読み取ると、蓄積データからそのデータを１件消去します。

7-5 蓄積データを転送する

1)　スキャナとパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。

2)　データを入力するアプリケーションを立ち上げて下さい（メモ帳などでお試し下さい）。

3)　設定メニューかボタンで転送モードに入って下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

「転送モードに入る」を読み取り、大ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。

転送モードに入る

注 このメニューはファームウェアバージョン
0001-0012 以上が対応します(2015 年 4 月頃から出荷)

大ボタン押す
(転送する)

上記メニューを通常のバーコードとして読んでしまう場合は下記「設定開始」「転送モードに入る」を読み取り大大ボタンを押して下さい。

設定開始

転送モードに入る

大ボタン押す
(転送する)

メモ　ファームウェアはアップデートすることが出来ます。
詳しくはウェブサイトのユーザー専用ページにログインし、資料をお読み下さい。

●ボタン操作で転送モードに入る

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。まだ長押しして下さい。緑の LED が高速で点滅します。

しばらく待つと、長いブザーが 1 回鳴ります。緑の LED が点灯になります。

ボタンから手を離して下さい。オレンジのランプが点灯します。転送モードに入りました。

大ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。

ご注意　パソコンの言語バーは直接入力に設定して下さい。
パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし[直接入力]を設定して下さい。
直接入力が無い場合は下記のように設定して下さい

言語バー（「あ」「A」などを)右クリック→[プロパティ]→([詳細設定]→[全般]タブ)→[編集操作]→[直接入力を使用しない」のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーを右クリック→[直接入力]を選択する。
※パソコンにより設定は異なります。

7-6 蓄積データを 1 件ずつ転送する設定

スキャナが転送モードに入ったとき、大ボタンを押すたびに 1 件ずつデータを転送することが出来ます。
設定開始→1 件ずつ転送→設定終了を読み取って下さい。(すべて転送を設定すると、出荷時の設定に戻ります)

設定開始

1 件ずつ転送

設定終了

＊すべて転送(出荷時設定)

7-7 蓄積データの転送データ形式

蓄積データの転送データ形式は次の通りです。

行	転送する文字	例	説明
先頭行（1 行目）	ヘッダ、改行	<Header>・・・(注)	データの開始行を示す文字<Header>と付加情報
2 行目	読み取りデータ、改行	12345678	出荷時はバーコードデータのみ転送します。
残りのデータの行	同上	12345679	同上
最終行	フッタ、改行	<Footer>	データの終了行を示す文字<Footer>

(注)ヘッダとフッタについては後述の 7-8 を参照して下さい。

読み取りデータ形式

日付(読み取り日付)	日付と時刻の間	時刻(読み取り時刻)	デリミタ	読み取りデータ	ポストアンブル
YYYY-MM-DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	バーコードデータ	CR,LF (改行)

読み取りデータ形式の設定

出荷時はバーコードデータのみ転送します。読み取り日時を転送する設定ができます。

下記の設定メニューで、お好みのデータ形式に設定して下さい。

設定例

ヘッダとフッタを転送しない	設定開始→ヘッダの転送 禁止→フッタの転送 禁止→設定終了
日付と時刻を転送する	設定開始→日付の転送 許可→時刻の転送 許可→デリミタの転送 許可 →（日時の位置 データの前（後））→設定終了
区切文字をタブに設定する	設定開始→「区切文字タブ設定」を上から順に読む→設定終了
日付の-を/に設定する	設定開始→「日付の-を/に設定」を上から順に読む→設定終了

設定開始

＊印は出荷時設定

設定	禁止(オフ)	許可(オン)
ヘッダの転送	禁止 ＊B E 7 6 0＊	＊許可 ＊B E 7 6 1＊
フッタの転送	禁止 ＊B E 7 7 0＊	＊許可 ＊B E 7 7 1＊
日付の転送	＊禁止 ＊C 0 1 3 0＊	許可 ＊C 0 1 3 1＊
時刻の転送	＊禁止 ＊C 0 1 4 0＊	許可 ＊C 0 1 4 1＊
デリミタの転送 日時とデータの間のキャラクタ	＊禁止 ＊C 0 1 1 0＊	許可 ＊C 0 1 1 1＊
日時の位置 データの前か後	＊前 ＊C 0 1 2 0＊	後 ＊C 0 1 2 1＊

区切文字タブ設定	日付の-を/に設定
日付と時刻の間 ＊C 0 A E 2＊ 0 9 セット	日付と時刻の間 ＊A 5 6 E 2＊ 2 F セット
デリミタ ＊C 0 B E 2＊ 0 9 セット	

設定終了

7-8　ヘッダとフッタ

蓄積データを転送すると、先頭行にヘッダというデータの開始行を示す文字と、最終行にフッタというデータのデータの終了行を示す文字情報を転送します。

ヘッダとフッタの転送データ形式は次の通りです。

ヘッダ/フッタ内の文字の形式

ヘッダの文字 (フッタの文字)	区切文字	日付 時刻(蓄積データの消去日時)	区切文字	レコード件数	ポストアンブル
<Header> (<Footer>)	SP	YYYY-MM-DD　SP　hh:mm:ss	SP	nnnnnn	CR,LF (改行)

ヘッダ/フッタ内の文字の転送

ヘッダ/フッタ内の文字、日付　時刻、レコード件数は個別に転送許可、禁止を設定できます。

ヘッダ/フッタ内の文字の説明

ヘッダの文字/フッタの文字

出荷時に転送する<Header>、<Header>という文字です。設定で任意の文字に変更することができます。

区切文字

SP（スペース）は固定で、変更できません。区切文字の前後の文字を転送しない場合、SP を転送しません。

日付　時刻

前回、蓄積データをすべて消去した日時です。出荷時、フッタの日付時刻は転送が禁止になっています。

レコード件数

蓄積データの件数です。形式は数字(n)6 桁、左側 0 詰めです。例えば 15 件なら 000015 になります。

出荷時、フッタのレコード件数は転送が禁止になっています。

設定例

ヘッダはレコード件数のみを転送する	設定開始→ヘッダの転送 許可→(ヘッダ内の文字)<Header>の転送 禁止→(ヘッダ内の文字) 日時の転送 禁止→(ヘッダ内の文字) レコード件数の転送 許可→設定終了

設定メニューについては、第 14 章 14-8 をお読み下さい。

7-9 蓄積データをすべて消去する

蓄積データをパソコンに転送した後も､データはスキャナに保存されています｡スキャナを操作して蓄積データを消去します。

1)　スキャナから USB ケーブルを外して下さい。メモリモードになります。オレンジの LED が点滅します。

2)　設定メニューかボタンで蓄積データをすべて消去して下さい。

●設定メニューで消去する

「消去」を読み取って下さい。（メニューでの消去は、どのモードでも行えます）

消去

注 このメニューはファームウェアバージョン
0001-0012 以上が対応します(2015 年 4 月頃から出荷)

上記メニューを通常のバーコードとして読んでしまう場合は下記「設定開始」「消去」を読み取って下さい。

設定開始　→　消去

メモ　ファームウェアはアップデートすることが出来ます。
詳しくはウェブサイトのユーザー専用ページにログインし、資料をお読み下さい。

●ボタン操作で消去する

メモ　メモリモードのときにのみ、ボタン操作で消去できます。

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。オレンジの LED が高速で点滅します。

小ボタンを長押ししたまま、大ボタンをを押して下さい。蓄積データをすべて消去します。

7-10 転送したら自動的に消去する設定

蓄積データをパソコンに転送したら、スキャナから蓄積データを自動的に消去する設定ができます。

設定開始→蓄積データの自動消去　許可→設定終了を読み取って下さい。(禁止を設定すると消去しません)

設定開始　→　蓄積データの自動消去　許可（*BE7A1*）　→　設定終了

蓄積データの自動消去　禁止（*BE7A0*）

7-11 マスストレージの設定

スキャナを「マスストレージ」に設定すると、蓄積データ転送をするとき、スキャナが USB メモリのようになります。

マスストレージでは、蓄積データをテキストファイルとしてパソコンに取り出せます。

設定開始→マスストレージ→設定終了を読み取って下さい。（標準動作を設定すると、元の動作に戻ります）

7-12 マスストレージで蓄積データファイルを取り出す

1) スキャナとパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。

2) 設定メニューかボタンで転送モードに入って下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

次の設定メニューを読み取って下さい。

●ボタン操作で転送モードに入る

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。まだ長押しして下さい。緑の LED が高速で点滅します。

しばらく待つと、長いブザーが 1 回鳴ります。緑の LED が点灯になります。

ボタンから手を離して下さい。転送モードに入りました。

3) パソコンが「リムーバブルディスク」の画面を開き、テキストファイル「MEMORY.TXT」が現れます。

4) テキストファイル「MEMORY.TXT」を、パソコンのお好きな場所にコピーするなどして保存して下さい。

5) 小ボタンを押して下さい。スキャナがケーブルスキャナに戻ります。

メモ　自動的にパソコンが画面表示しない場合、パソコンを操作して「リムーバブルディスク」の場所を開いて下さい。
メモ　リムーバブルディスク内の「MEMORY.TXT」は書き換えできません。コピーしてご利用下さい。
メモ　万一、リムーバブルディスク内の「MEMORY.TXT」を消去しても、自動的にファイルが作成されます。

7-13 マスストレージのデータを消去する

蓄積データを消去する手順は、標準動作と同じです。第 7 章 7-9 をお読み下さい。

7-14 マスストレージのデータ形式

テキストファイル「MEMORY.TXT」のデータ形式は固定です。日時は必ずデータの前に付きます。メモリモードの標準動作の付加文字（ヘッダ、フッタ、プリフィックス、サフィックス）は付きません。

データ形式（マスストレージのテキストファイル）

日付(読み取り日付)	日付と時刻の間	時刻(読み取り時刻)	デリミタ	読み取りデータ	ポストアンブル
YYYY-MM-DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	バーコードデータ	CR,LF (改行)

メモ　日付、時刻、データ間のスペースはタブなどに変更できます。第 7 章 7-7 をお読み下さい。

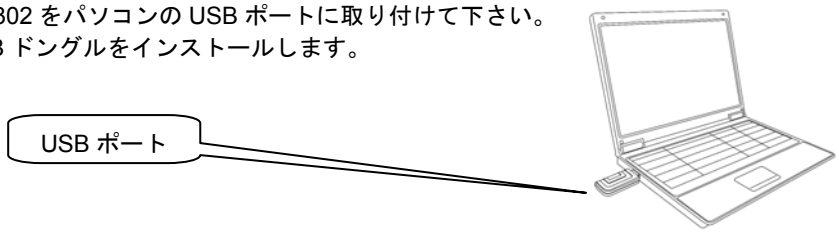
第 8 章　BT モード（Bluetooth ワイヤレスモード）　設定と使い方

8-1　ドングル付きセット品の使い方

メモ　セット品はペアリングの設定済みです。BT モードに切り替えるのみで使用できます。

1　パソコンに専用 USB ドングルを取り付ける

専用 USB ドングル A-302 をパソコンの USB ポートに取り付けて下さい。
パソコンが自動で USB ドングルをインストールします。



2　スキャナをワイヤレスモードに切り替える

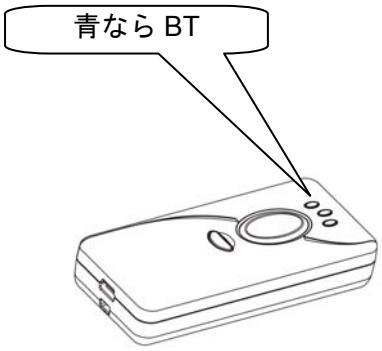
①スキャナから USB ケーブルを外して下さい。
②BT モードに切り替えて下さい。
　※青が点滅するなら、すでに BT モードです。

設定開始

BT モードへ切替

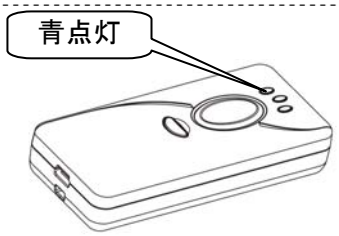
エラー音が鳴る場合
すでに BT モードです。
設定終了を読み取って下さい。

設定終了



しばらく待つと、スキャナの青色 LED ランプが点灯し、短いブザーが 2 回鳴ります。

以上でワイヤレス接続は完了です。



3　キーボード配列の設定

次のメニューを上から順に読み取って下さい。

設定開始

ケーブル/メモリ日本キーボード

BT 日本キーボード

設定終了

4　使い方

1) データを入力するアプリケーションを立ち上げて下さい（メモ帳などでお試し下さい）。
2) バーコードを読み取って下さい。アプリケーションのカーソルがある場所に読み取りデータを転送します。

メモ　スキャナはしばらく時間がたつとスリープします。

ご注意　パソコンの言語バーは直接入力に設定して下さい。

パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし[直接入力]を設定して下さい。
直接入力が無い場合は下記のように設定して下さい

言語バー（「あ」「A」などを)右クリック→[プロパティ]→([詳細設定]→[全般]タブ)→[編集操作]→[直接入力を使用しない」のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーを右クリック→[直接入力]を選択する。
※パソコンにより設定は異なります。

8-2　専用 USB ドングルとスキャナのペアリング

ご案内　セット品は設定済みの為、この設定は不要です。
初期化した場合などに、設定して下さい。

1　スキャナを設定する

スキャナで上から順に読み取って下さい

【BT 接続タイプの設定】
設定開始

専用 USB ドングル

設定終了

【ドングルの MAC アドレス設定】
設定開始

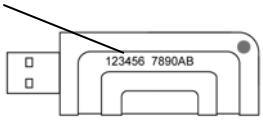
専用 USB ドングル用 MAC アドレス

セット

設定終了

USB ドングルの半透明のケース越しに表示している文字と同じ文字を、メニューから読み取ります。
例：001C97FF15FC なら　0→0→1→C→9→7→F→F→1→5→F→C　と 1 つずつ読み取ります。

ケース越しの 12 文字



メニュー

0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
A
B
C
D
E
F

2　パソコンに USB ドングルを取り付ける

専用 USB ドングル A-302 をパソコンの USB ポートに取り付けて下さい。

3　BT モードに切り替え、ペアリングする

スキャナから USB ケーブルを外し、次のメニューを読み取って下さい。

設定開始 → BT モードへ切替

エラー音が鳴る場合、すでに BT モードです。続けて「BT ペアリング」を読み取って下さい。

設定開始 → BT ペアリング

しばらく待つと、スキャナのブザーが鳴り、青色 LED ランプが点灯します。
以上でペアリング完了です。

メモ　スキャナを iPad などとペアリングした後、一度設定したことがある専用 USB ドングルと再びペアリングする場合、「ドングルの MAC アドレス」の設定は保存されているので設定不要です。（初期化した場合は設定が必要です）

メモ　使い方は、第 8 章　8-1　ドングルつきセット品の使い方　を参照して下さい。

8-3　iOS デバイス(iPad,iPhone)とスキャナのペアリング・使い方

メモ　ブザーはオンにして下さい。またはバイブレータをオンにして下さい。（メニューを読んでいるか確認する為）

1　スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい

設定開始

iOS

設定終了

②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい

設定開始 → BT モードへ切替

エラー音が鳴る場合、すでに BT モードです。続けて「BT ペアリング」を読み取って下さい。

設定開始 → BT ペアリング

2　iOS の Bluetooth をオンにする

[設定]→[Bluetooth]→[オン]にして下さい。

[SmartBt]をタップします。コード(数字 4 桁)が出ます。

3　スキャナで設定メニューを読み取る

スキャナで同じ数字→セットを読み取って下さい。

「6411」なら「6,4,1,1,セット」を読みます。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

セット

4　ペアリング完了

ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。

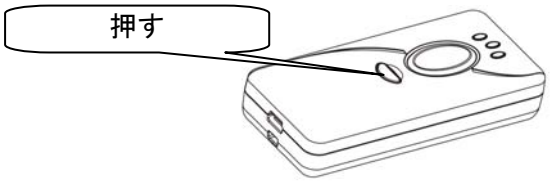
以上でペアリング完了です。

8-3（続き）iOS デバイス(iPad,iPhone) とスキャナのペアリング・使い方

5　使い方

①iOS デバイスの[メモ]やブラウザなどのアプリを立ち上げて下さい。

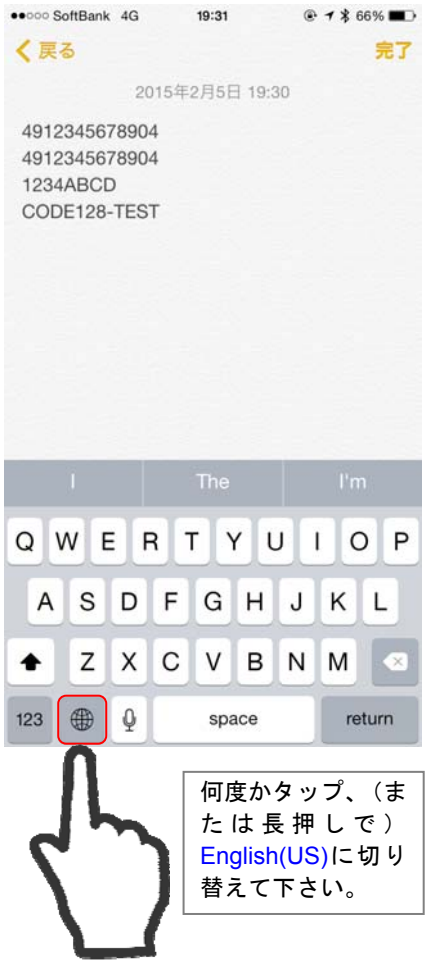
②スキャナの小ボタンを 1 回押して下さい。オンスクリーンキーボードが立ち上がります。



③オンスクリーンキーボードの を何度かタップ（または長押し）して、キーボードを English(US)に切り替えて下さい。

④バーコードを入力したいところをタップしカーソルを表示させて下さい。

⑤バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。



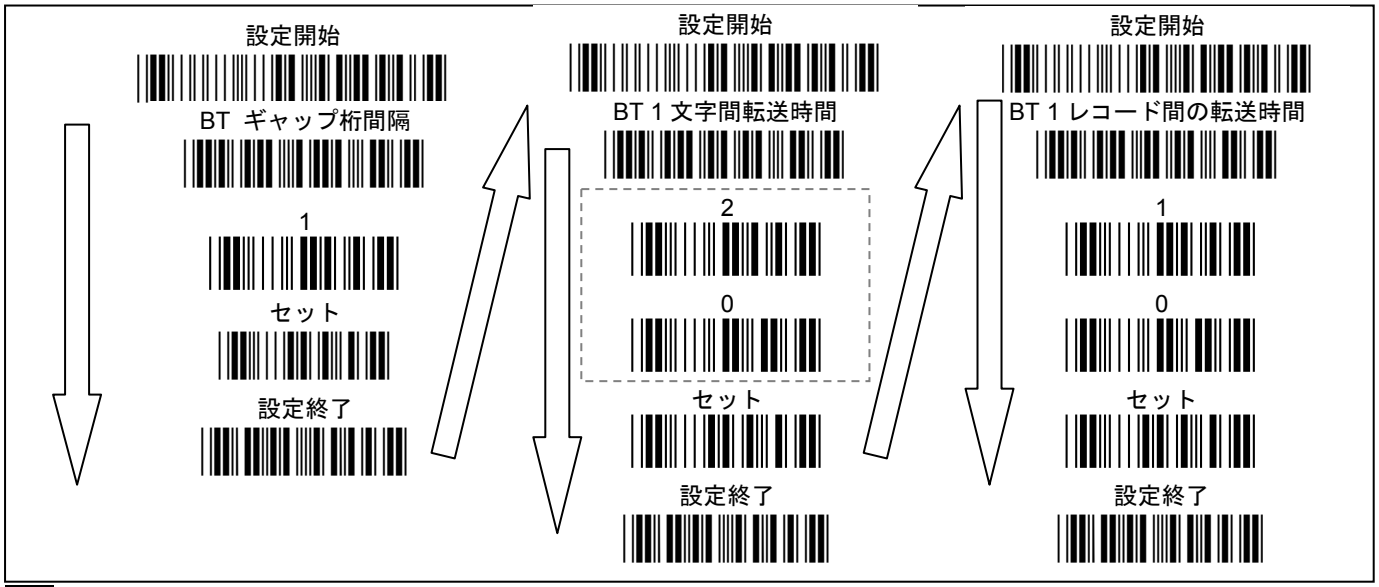
メモ　Bluetooth 接続中は、iOS デバイスの画面をタップしても、キーボードが出ません。スキャナの小ボタンでキーボードをオン/オフして下さい。

メモ　スキャナはしばらく時間がたつとスリープします。
スキャナの大ボタンか小ボタンを押すと Bluetooth 接続します。

こんなときは　読み取りデータが桁落ち・文字抜けする場合
- データ入力するアプリやブラウザを変えてご使用下さい。
- または下記「データ転送速度を遅くする」設定をお試し下さい。

6　データ転送速度を遅くする（桁落ち、文字抜けの対策）

順にすべて読み取って下さい。BT モードのデータ転送速度を遅くします。



メモ　BT ギャップ桁間隔･･･何文字ごとに、遅延時間を入れるかの設定。通常は上記のまま(1 桁ごと)設定して下さい。
BT 1 文字間転送時間･･･BT ギャップ桁間隔で設定した桁ごとに入れる遅延時間です。単位は 1msec。
改善しない場合、2→0 を 5→0 など大きな数に設定して下さい。
BT 1 レコード間の転送時間･･･読み取りデータ 1 件の後に入れる遅延時間。単位は 10msec。

BT 1 文字間転送時間、BT 1 レコード間の転送時間は、数値を変更して調整できます。巻末の英数メニューをご使用下さい。

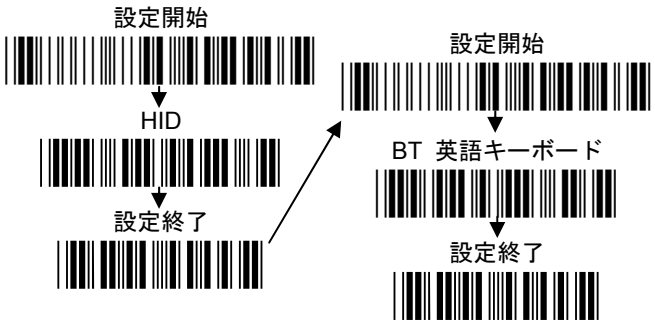
8-4　Android デバイス(タブレット等)とスキャナのペアリング・使い方

ご注意　Android 4.3 以上推奨。HID 接続となります。Android 2.x は対応しません。SPP 用アプリはありません。

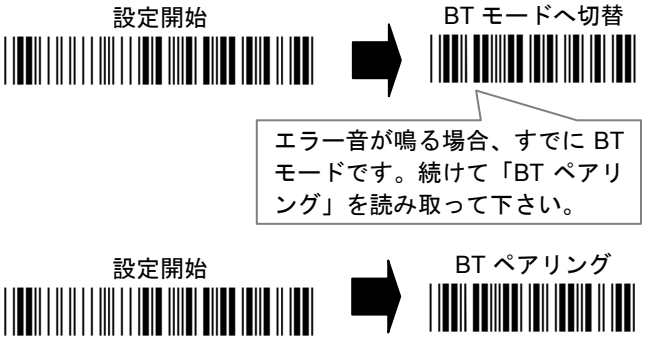
ブザーはオンにして下さい。またはバイブレータをオンにして下さい。（メニューを読んでいるか確認する為）

1　スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい

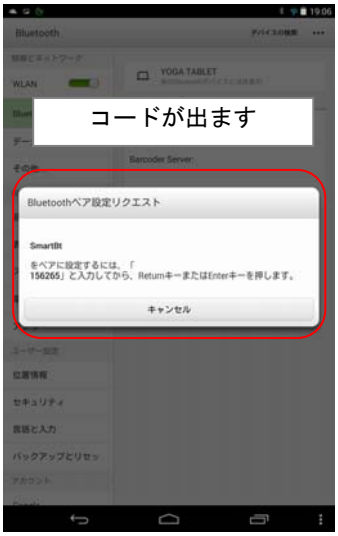


②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい



2　Android で Bluetooth デバイスを検索する (機器によって画面は異なります)

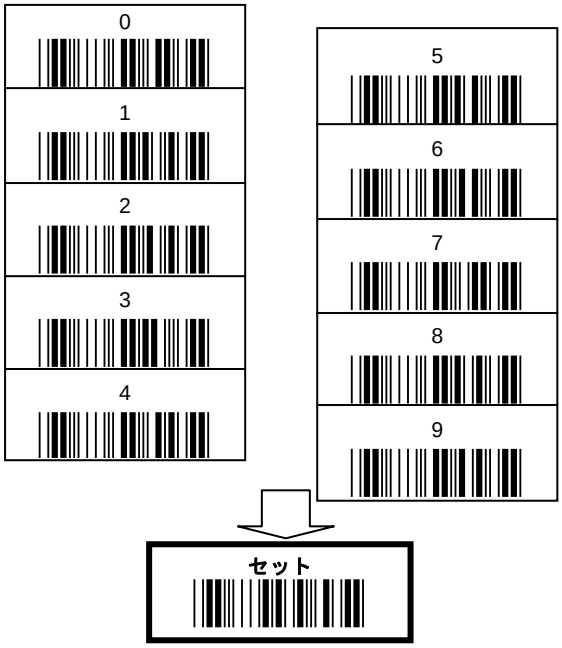
[設定]→[Bluetooth]→[オン]→([デバイスの検索]→)[SmartBt]をタップします。コード(数字 6 桁)が出ます。



3　スキャナで設定メニューを読み取る

スキャナで[コードの数字]→[セット]を読み取って下さい。

「156265」なら「1,5,6,2,6,5,セット」と読みます。



4　ペアリング完了

ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。

以上でペアリング完了です。

8-4（続き）Android デバイス(タブレット等) とスキャナのペアリング・使い方

5　使い方　（図は Android 4.3 のタブレットの例。機器により画面、機能、操作方法が異なります。）

①Android デバイスのキーボード設定を**英語キーボード**に設定して下さい。

Andrid デバイスの[設定] →[言語と入力]→「キーボードと入力方法」から[デフォルト]（[標準]、[現在の入力方法]など）をタップ→[入力方法の選択]の画面から[英語]のキーボードを選択する。(

②バーコードデータを入力するアプリ（メモアプリやブラウザ）を立ち上げて下さい。

③バーコードを入力したいところを**タップしてカーソルを表示**させて下さい。

③バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。

メモ　スキャナはしばらく時間がたつとスリープします。スキャナの大ボタンか小ボタンを押すと Bluetooth 接続します。

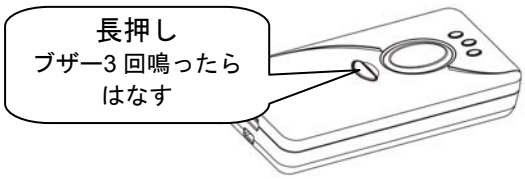
ソフトキーボードを出す方法

・Bluetooth 接続中は、Android デバイスの画面をタップしてもソフトキーボードが出ません。

・ソフトキーボードを出すには、スキャナの Bluetooth を切断して下さい。

●Bluetooth を切断する方法

スキャナの小ボタンを長押し→3 回ブザー「ピピピ」が鳴る→ボタンをはなす→Bluetooth が切断します



Bluetooth 切断後、データ入力したいところをタップすると、ソフトキーボードが出ます。

タブレットですばやく設定を変える方法　※機器によります

●アプリのデータ入力する場所をタッチしカーソルを表示させる→画面の左上から下にスワイプする（なぞる）→[入力方法の選択]→ハードウェア(物理キーボード)のオン・オフ、英語・日本語の切り替えができます。

物理キーボードをオフにすると、Bluetooth 接続したままソフトキーボードを出せます。

※再度 Bluetooth 接続したとき物理キーボードはオンに戻り、ソフトキーボードは出なくなります。

●ソフトキーよっては特定のキーを長押しすると[入力方法の選択]を表示し、日本語、英語の切替ができる場合があります。

8-5　Window 8 <Bluetooth 対応 PC/タブレット>とスキャナのペアリング・使い方

メモ　ブザーはオンにして下さい。またはバイブレータをオンにして下さい。（メニューを読んでいるか確認する為）

1　スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい

設定開始 → HID → 設定終了

設定開始 → BT 日本キーボード → 設定終了

②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい

設定開始 → BT モードへ切替

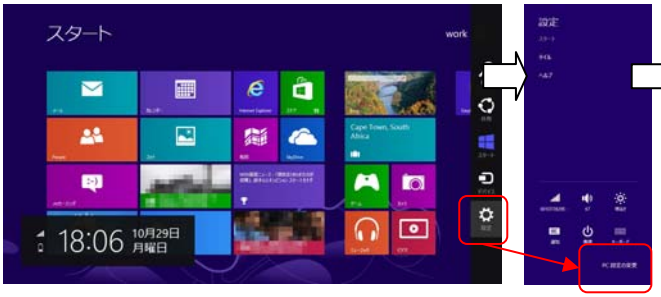
エラー音が鳴る場合、すでに BT モードです。続けて「BT ペアリング」を読み取って下さい。

設定開始 → BT ペアリング

2　Windows で Bluetooth デバイスの追加をする (機器によって画面は異なります)

① PC の Bluetooth をオンにして下さい。オンにする方法は PC の説明書をお読み下さい。

② [チャーム]を表示→[設定]→[PC 設定の変更]



③ Buletooth の追加をする
Windows 8.1:　[PC とデバイス]→[Bluetooth]
Windows 8 : [デバイス]→[デバイスの追加]

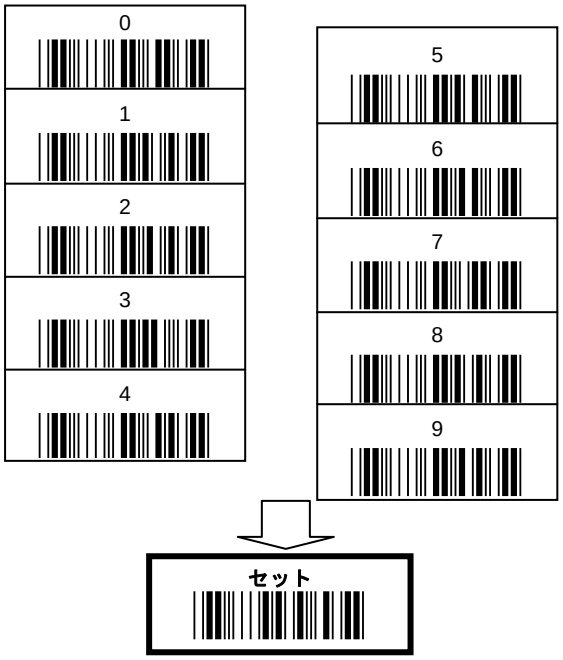
④ [SmartBt]→[ペアリング](Win 8.1)

⑤ パスコード(数字 8 桁)が出ます。(注)

3　スキャナで設定メニューを読み取る

スキャナで[パスコードの数字]→[セット]を読み取って下さい。

「81768896」なら「8,1,7,6,8,8,9,6,セット」と読みます。



4　ペアリング完了

ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。

以上でペアリング完了です。

(注)2 の⑤でコードの入力画面が出た場合

①PC のキーボードで半角「1234」を入力→[次へ]

②スキャナでメニュー「1,2,3,4,セット」を読み取る

5　使い方

データを入力するアプリケーションを立ち上げ、バーコードを読み取って下さい。アプリケーションのカーソルがある場所にデータを転送します。

ご注意　PC の言語バーは直接入力に設定して下さい。
→第 8 章　8-1 の「ご注意」をお読み下さい。

8-6　Window 7 <Bluetooth 対応 PC/タブレット>とスキャナのペアリング・使い方

メモ　ブザーはオンにして下さい。またはバイブレータをオンにして下さい。（メニューを読んでいるか確認する為）

1　スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい

設定開始 → HID → 設定終了

設定開始 → BT　日本キーボード → 設定終了

②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい

設定開始 → BT モードへ切替

エラー音が鳴る場合、すでに BT モードです。続けて「BT ペアリング」を読み取って下さい。

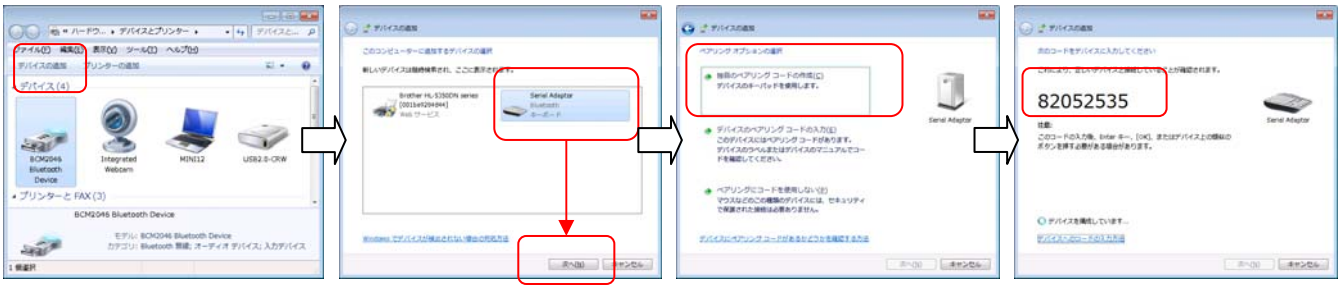
設定開始 → BT ペアリング

2　Windows で Bluetooth デバイスの追加をする(機器によって画面は異なります)

① PC の Bluetooth をオンにして下さい。オンにする方法は PC の説明書をお読み下さい。

② [スタート]→[デバイスとプリンター]

→[デバイスの追加]→[SmartBt]→[次へ]→[独自のペアリングコードの作成]→ペアリングコード(数字 8 桁)が出ます。



3　スキャナで設定メニューを読み取る

スキャナで[パスコードの数字]→[セット]を読み取って下さい。

「82052535」なら「8,2,0,5,2,5,3,5,セット」と読みます。

0　1　2　3　4　5　6　7　8　9

セット

4　ペアリング完了

ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。

以上でペアリング完了です。

5　使い方

データを入力するアプリケーションを立ち上げ、バーコードを読み取って下さい。アプリケーションのカーソルがある場所にデータを転送します。

ご注意　PC の言語バーは直接入力に設定して下さい。

→第 8 章　8-1 の「ご注意」をお読み下さい。

8-7　市販の USB Bluetooth アダプタとスキャナのペアリング・使い方

ご注意　すべての市販 USB Bluetooth アダプタの動作を保証するものではありません。

メモ　ブザーはオンにして下さい。またはバイブレータをオンにして下さい。（メニューを読んでいるか確認する為）

1　スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい

設定開始

HID

設定終了

設定開始

BT 日本キーボード

設定終了

②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい

設定開始

BT モードへ切替

エラー音が鳴る場合、すでに BT モードです。続けて「BT ペアリング」を読み取って下さい。

設定開始

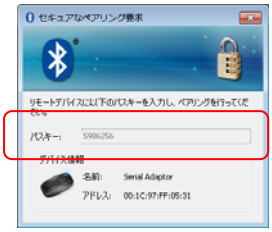
BT ペアリング

2　パソコンで Bluetooth デバイスの追加をする (機器によって画面は異なります)

①Bluetooth デバイスの追加を行ってください。USB Bluetooth アダプタ付属の設定ソフトによって、手順が異なります。

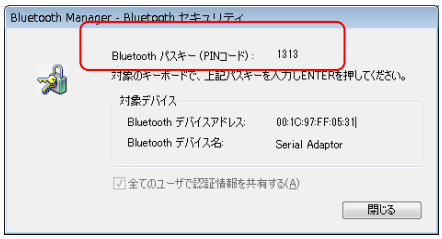
②パスキー（PIN コード）の数字が出ます。下記はパスキー表示例です。Bluetooth 設定ソフトによって画面が異なります。

Motrola 製ソフトの場合



WIDCOMM 製ソフトの場合

TOSHIBA 製ソフトの場合



3　スキャナで設定メニューを読み取る

スキャナで パスコードの数字 → セット を読み取って下さい。

「621640」なら「6,2,1,6,4,0,セット」と読みます。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

セット

4　ペアリング完了

ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。

以上でペアリング完了です。

5　使い方

データを入力するアプリケーションを立ち上げ、バーコードを読み取って下さい。アプリケーションのカーソルがある場所にデータを転送します。

ご注意　PC の言語バーは直接入力に設定して下さい。

→第 8 章　8-1 の「ご注意」をお読み下さい。

8-8　ボタン操作でペアリングモードに入る

ペアリングモードは、設定メニュー読み取りか、ボタン操作で入ることができます。

1)　スキャナから USB ケーブルを外して下さい。

2)　スキャナを BT モードに切り替えてください。（第 5 章を参照）

2)　設定メニューかボタンでペアリングモードに入って下さい。

●設定メニューでペアリングモードに入る

次の設定メニューを読み取って下さい。

設定開始　→　BT ペアリング

●ボタン操作でペアリングモードに入る

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。青の LED が高速で点滅します。

小ボタンを長押ししたまま、大ボタンをを押して下さい。ペアリングモードに入ります。

8-9　ペアリング解除を防ぐ設定

ボタン操作でペアリングモードに入らない設定ができます。ボタン操作でペアリングを解除してしまうミスを防ぎます。
設定開始→BT 小ボタン長押し＋大ボタン 禁止→設定終了を読み取って下さい。(出荷時は許可です)

設定開始　→　BT 小ボタン長押し＋大ボタン 禁止 (*C4280*)　→　設定終了

BT 小ボタン長押し＋大ボタン許可 (*C4281*)

メモ　ボタン禁止でも設定メニューでのペアリングはできます。

8-10　モード切替を防ぐ設定

大ボタンの長押しによるモード切替のミスを防ぐには、モード固定して下さい。
メモリモードにならないようにように BT モードに固定するには設定開始→ケーブル＋BT→設定終了を設定して下さい。
詳しくは第 5 章　5-5　を参照して下さい。

設定開始　→　ケーブル＋BT (*A40C4*)　→　設定終了

8-11　Bluetooth を切断する

ボタン操作で Bluetooth を切断することができます。Bluetooth 機器のキーボードが使用できない場合などは切断して下さい。

●ボタン操作で Bluetooth を切断する

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。青の LED が高速で点滅します。

ボタンを離してください。

スキャナが Bluetooth を切断し、オフになります。

メモ　ペアリングの設定は保持されています。何かボタンを押すと電源が入り、Blueooth 接続します。

8-12　USB 充電しながら BT モードを使う設定

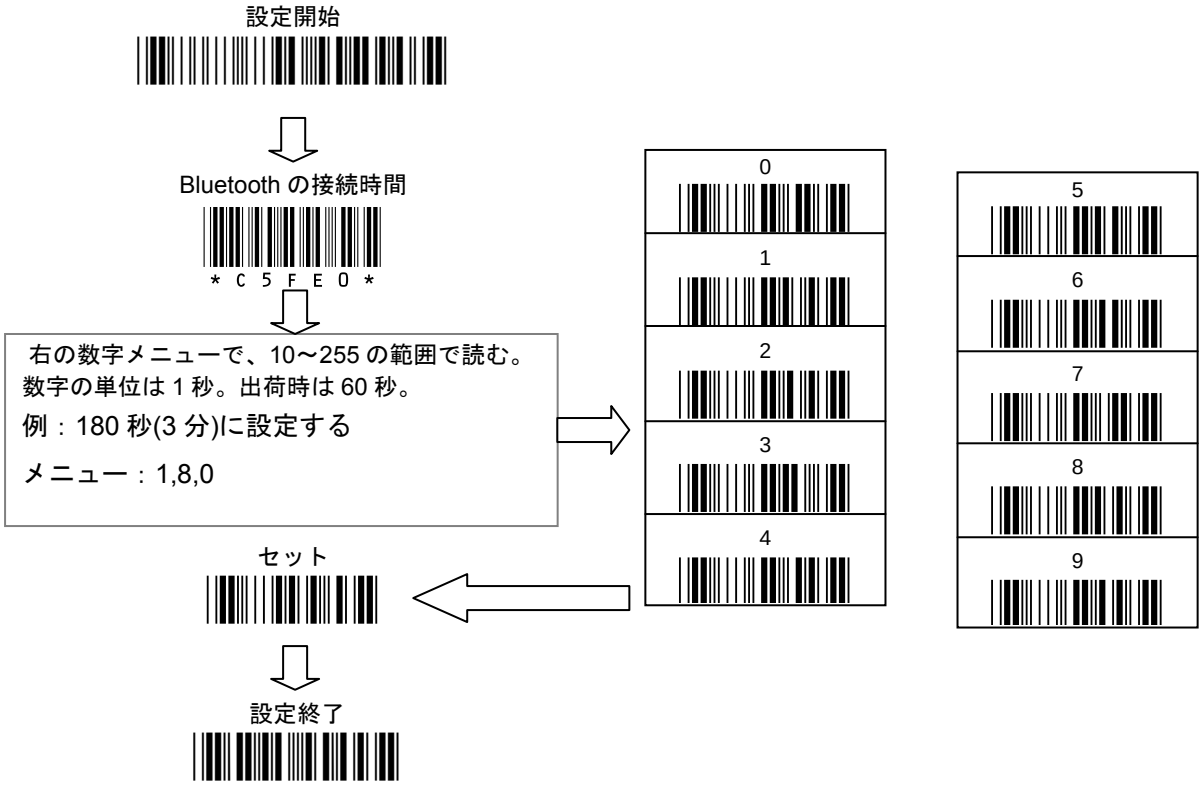
モードの固定で、「BT」「メモリ/BT」（ケーブルモードを使用しない設定）を設定すると、USB ケーブルで充電しながらワイヤレススキャナとして使用できます。

設定開始→BT（またはメモリ/BT）→設定終了を設定して下さい。

詳しくは第 5 章　5-5　を参照して下さい。

8-13　Bluetooth 接続時間の設定

出荷時、BT モードは何も操作しないと 60 秒後に Bluetooth を切断し、スリープします。
Bluetooth 接続時間は長くすることができます。最小の設定は 10 秒、最大の設定は 255 秒（4 分 15 秒）です。
下記の設定メニューを順に読み取って下さい。



メモ　時間を長く設定すると、スキャナと機器のバッテリー消耗が早くなります。

8-14　メモリモードの蓄積データを BT モードで転送する

メモリモードで蓄積したデータを、パソコンに Bluetooth ワイヤレスで転送することが出来ます。

メモ　モード固定の設定で、メモリを使えないモードを設定している場合は使用できません。

1)　スキャナから USB ケーブルを外して下さい。

2)　スキャナを BT モードに切り替えてください。（第 5 章を参照）

2)　設定メニューかボタンで転送モードに入って下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

次の設定メニューを読み取り、転送モードに入り、大ボタンをを押して下さい。蓄積データを転送します。

●ボタン操作で転送モードに入る

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。まだ長押しして下さい。青の LED が高速で点滅します。

しばらく待つと、長いブザーが 1 回鳴ります。青の LED が点灯になります。

ボタンから手を離して下さい。オレンジのランプが点灯します。転送モードに入りました。

大ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。

第 9 章　メンテナンス

本製品は特別なメンテナンスが不要ですが、定期的に清掃・点検を行うことで高い性能を保つことができます。

9-1 読み取り窓の清掃

[redacted] ご注意 [redacted]

読み取り窓を清掃するときは、傷つけないように注意してください。読み取り窓が傷つくと読み取らなくなります。

読み取り窓が汚れていると、バーコードの読み取り性能が低下するなどの影響が生じます。ほこりや汚れがついている場合は柔らかい布やティッシュを水または薄めた中性洗剤で湿らせて、よく絞ってから読み取り窓を拭いてください。

読み取り窓を拭くときは下記のことをお守り下さい。

- 強くこすらない
  →窓が傷つき読み取らなくなります。
- 研磨剤を使ったり、研磨する布類を使ったりしない
  →窓が傷つき読み取らなくなります。
- 有機溶剤を使用しない
  →窓が溶けて読み取らなくなります。
- 水やその他の液体を直接窓に吹きかけない
  →本製品は防水ではありません。液体が侵入し故障の原因になります。

9-2 コネクタ・ケーブルの点検

コネクタ・ケーブルが破損・故障していると、正常に動作しません。

定期的に下記のことを確認して下さい。

- コネクタが破損・変形していないか確認する
  →コネクタが異常だと動作しなくなります。
- ケーブルがねじれていたり、物が乗っていたり、挟まったりしていないか確認する。
  →ケーブルが断線し、動作しなくなります。

第 10 章　困ったときは

Q:設定の方法を知りたい

A:第 13 章　設定の方法　をお読み下さい。

Q:JAN-13(13 桁)が 12 桁で転送してしまう　先頭 0 が出ない

A: そのバーコードの 1 桁目が 0 の場合、バーコードタイプ UPC-A に対し、次の設定をして下さい。

第 14 章 14-17　UPC-A　設定開始→前方から削除→0(付録 B の英数メニュー)→セット→設定終了

Q:Interleaved 2 of 5(ITF)を読み取らない

A:次の設定をして下さい。 第 14 章 14-22　Interleaved 2 of 5　設定開始→読み取り　許可→設定終了

Q:Code 39 のスタート/ストップキャラクタ＊を転送したい

A: 次の設定をして下さい。第 14 章 14-21　Code 39　設定開始→スタート/ストップ転送　許可→設定終了

Q:NW7 のスタート/ストップキャラクタ A を転送したい

A: 次の設定をして下さい。第 14 章 14-25　Codabar / NW7　設定開始→スタート/ストップ転送　許可→設定終了

Q:データの最後に転送する Enter(エンター、改行)を Tab(タブ)や無しに変更したい

A:第 2 章 2-5　「よく使う設定」の設定メニューで設定して下さい。

詳しくは第 13 章 13-7「読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定」をお読み下さい。

Q:Excel に転送すると E+12 などと表示する、最初の 0 が消える

A:Excel でデータを入力する列を選択→右クリック→セルの書式設定→表示形式→文字列→OK を設定して下さい

Q:Enter(改行)の設定をしたが改行しない、データが横につながって出る

A:パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし[直接入力]を設定して下さい。直接入力が無い場合は下記のように設定して下さい

IME(言語バー、「あ」などを)右クリック→[プロパティ]→([詳細設定]→[全般]タブ)→[編集操作]→[直接入力を使用しない」のチェックを外す→[OK]

以上で IME(言語バー)を右クリックして[直接入力]を選択可能になります。パソコンにより設定は異なります。

第 11 章　仕様

仕様表

型番	CM-520W1
プロセッサ	32 bits CPU
メモリ	4MB
ボタン	2 (スキャン/モード切替、消去/転送、ペアリング)
読み取り バーコード	JAN,EAN,UPC,Code 39, Interleaved 2 of 5 (ITF), Industrial 2 of 5, Matrix 2 of 5, Codabar(NW7), Code 93, Code 128,GS1-128(注), GS1 Databar (RSS)他
光学仕様	受光 ： リニア CCD イメージセンサ　2,500pixel 光源 ： 赤色 LED 630nm スキャン速度 ：100 スキャン/秒
読取性能	読取深度 ：50mm~250mm(JAN,0.33mm) PCS : 0.45 以上
バッテリー	リチウムポリマーバッテリ 3.7V,420mAH　(USB ポートで充電)
読取回数	Bluetooth モード ：8,000 回(5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オン、ブザーあり) Bluetooth モード ：15,000 回(5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オフ、ブザーあり) メモリモード ：18,000 回(5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オフ、ブザーあり)
消費電流	90mA
USB	USB mini B コネクタ(メス) クラス:USB HID,USB バーチャル COM,マスストレージ
無線	Bluetooth Version 2.0,Class1, 対応プロファイル ：HID,iOS 用 HID, SPP(Slave,Master) 周波数帯域 2.4GHz,想定干渉距離 100m
LED 通知	3(緑: 読み取り、オレンジ:転送モード、赤:バッテリー通知、青:Bluetooth ワイヤレス通知)
ブザー通知	あり（音量 4 段階またはブザー禁止に設定可能）
バイブレータ	あり（禁止に設定可能）
温度	動作：-10 ℃～+40 ℃、保管：-40 ℃～+70 ℃
湿度	10%-90%RH(結露なきこと)
寸法	(L x W x H) 89 x 40 x 17.5 mm
重量	75g(内蔵バッテリ含む)
認証	FCC / CE / VCCI / RoHS 指令準拠,技術適合認証(無線モジュール　P110)
動作確認 OS	Windows 10,Windows8.1,Windows8,Windows7 (USB 接続)

注意　バーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。
注意　GS1-128 はファームウェアバージョン 0001-0014 以上が AI にカッコを付ける機能があります。
注意　すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

第 12 章　出荷時の初期値一覧、コード ID 一覧

12-1 初期値の一覧

設定の初期値です。

初期値の一覧表

モード	キーボード配列	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	キーボード配列	英語キーボード	14-3
BT	キーボード配列	英語キーボード	14-3

モード	Caps Lock	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	Caps Lock	オート	14-3
BT	Caps Lock	Caps Lock オフ	14-3

モード	数字データ	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	数字データ	フルキーとしてデータを転送	14-3
BT	数字データ	フルキーとしてデータを転送	14-3

モード	ギャップ	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	桁間隔	0 (桁)	14-3
	1文字間の転送時間	2 (1msec)	14-3
	1レコード間の転送時間	0 (10msec)	14-3
BT	桁間隔	0 (桁)	14-3
	1文字間の転送時間	2 (1msec)	14-3
	1レコード間の転送時間	0 (10msec)	14-3

スキャナのモード固定	初期値	参照　章
スキャナのモード固定	ケーブル＋メモリ＋BT	14-4

モード	小ボタンの設定	初期値	参照　章
ケーブル	転送モードに入る	許可	14-5
メモリ	1件消去する	許可	14-5
BT	転送モードに入る	許可	14-5

モード	小ボタン長押し＋大ボタンの設定	初期値	参照　章
ケーブル	充電オン/オフ	許可	14-5
メモリ	すべて消去する	許可	14-5
BT	ペアリングモードに入る	許可	14-5

初期値の一覧表(続き)

モード	スキャナ本体の日時設定	初期値	参照　章
すべて	日時の設定	2000-01-01 00:00:00 (開封時すすんでいる場合あり)	14-6
	日付の区切文字	-（設定値2D、ハイフン）	14-6
	時刻の区切文字	許可	14-6

モード	日付の形式	初期値	参照　章
すべて	日付の形式	YYYYMMDD	14-6

モード	時刻の形式	初期値	参照　章
すべて	時刻の形式	hhmmss	14-6

モード	日時の転送	初期値	参照　章
ケーブル	日付の転送	禁止	14-7
	時刻の転送	禁止	14-7
	日付と時刻の間のキャラクタ	SP (設定値20)	14-7
	デリミタの転送	禁止	14-7
	デリミタのキャラクタ	SP (設定値20)	14-7
	日時の位置	データの前	14-7
メモリ	日付の転送	禁止	14-7
	時刻の転送	禁止	14-7
	日付と時刻の間のキャラクタ	SP (設定値20)	14-7
	デリミタの転送	禁止	14-7
	デリミタのキャラクタ	SP (設定値20)	14-7
	日時の位置	データの前	14-7
BT	日付の転送	禁止	14-7
	時刻の転送	禁止	14-7
	日付と時刻の間のキャラクタ	SP (設定値20)	14-7
	デリミタの転送	禁止	14-7
	デリミタのキャラクタ	SP (設定値20)	14-7
	日時の位置	データの前	14-7

モード	メモリモードの動作		初期値	参照　章
メモリ	転送タイプ		標準動作	14-8
メモリ/BT	蓄積データの転送単位		すべて転送	14-8
	蓄積データの自動消去		禁止	14-8
メモリ	ヘッダの転送		許可	14-8
	フッタの転送		許可	14-8
	ヘッダ内の文字の転送	<Header>の転送	許可	14-8
		<Header>の文字設定	<Header>	14-8
		日時の転送	許可	14-8
		レコード件数の転送	許可	14-8
	フッタ内の文字の転送	<Footer>の転送	許可	14-8
		<Footer>の文字設定	<Header>	14-8
		日時の転送	禁止	14-8
		レコード件数の転送	禁止	14-8

初期値の一覧表(続き)

モード	BTモードの動作		初期値	参照　章
BT	Bluetooth接続タイプ		Slave SPP	14-9
	MACアドレス	Master 用	000000000000	14-9
		A-302	000000000000	14-9
	PINコード		1234	14-9
	通信時間	ペアリングの時間	90 (1000msec)	14-9
		Bluetooth 接続の時間	60 (1000msec)	14-9

モード	スキャンモード	初期値	参照　章
ケーブル	スキャンモード	モーメンタリ	14-10
メモリ	スキャンモード	モーメンタリ	14-10
BT	スキャンモード	モーメンタリ	14-10

モード	エイマーの点灯時間	初期値	参照　章
ケーブル	エイマーの点灯時間	10 (1000msec)	14-10
メモリ	エイマーの点灯時間	10 (1000msec)	14-10
BT	エイマーの点灯時間	10 (1000msec)	14-10

モード	同一コードを読み取るまでの時間	初期値	参照　章
すべて	同一コードを読み取るまでの時間	50 (10msec)	14-10

モード	エイマーの明るさ	初期値	参照　章
すべて	エイマーの明るさ	10 (レベル)	14-10

モード	2度読み防止	初期値	参照　章
ケーブル	2 度読み防止	禁止	14-11
メモリ	2 度読み防止	禁止	14-11
BT	2 度読み防止	禁止	14-11

モード	読み取り一致	初期値	参照　章
ケーブル	読み取り一致	禁止	14-11
メモリ	読み取り一致	禁止	14-11
BT	読み取り一致	禁止	14-11
すべて	読み取り一致回数	1(回)	14-11

初期値の一覧表(続き)

モード	ブザー　オン/オフ	初期値	参照　章
すべて	警告	許可	14-11
ケーブル	読み取り	許可	14-11
	警告	許可	14-11
	機能操作	許可	14-11
	音調	27 (100Hz)	14-11
	鳴る長さ	10 (10msec)	14-11
メモリ	読み取り	許可	14-11
	警告	許可	14-11
	機能操作	許可	14-11
	音調	27 (100Hz)	14-11
	鳴る長さ	10 (10msec)	14-11
BT	読み取り	許可	14-11
	警告	許可	14-11
	機能操作	許可	14-11
	音調	27 (100Hz)	14-11
	鳴る長さ	10 (10msec)	14-11

モード	ブザー　音量	初期値	参照　章
すべて	警告	大	14-12
ケーブル	読み取り	大	14-12
	警告	大	14-12
	機能操作	大	14-12
メモリ	読み取り	大	14-12
	警告	大	14-12
	機能操作	大	14-12
BT	読み取り	大	14-12
	警告	大	14-12
	機能操作	大	14-12

モード	バイブレータ	初期値	参照　章
すべて	警告	禁止	14-13
	設定時	禁止	14-13
ケーブル	読み取り	許可	14-13
	警告	許可	14-13
	機能操作	許可	14-13
	バイブの長さ	5 (10msec)	14-13
メモリ	読み取り	許可	14-13
	警告	許可	14-13
	機能操作	許可	14-13
	バイブの長さ	5 (10msec)	14-13
BT	読み取り	許可	14-13
	警告	許可	14-13
	機能操作	許可	14-13
	バイブの長さ	5 (10msec)	14-13

初期値の一覧表(続き)

モード	プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブル	初期値	参照　章
ケーブル	プリアンブルの転送	禁止	14-14
	プリアンブル　データ	(なし)	14-14
	プリフィックスの転送	禁止	14-14
	プフィックス　データ	(なし)	14-14
	サフィックスの転送	禁止	14-14
	サフィックス　データ	(なし)	14-14
	ポストアンブルの転送	許可	14-14
	ポストアンブル　データ	CR LF (設定値 0D 0A)	14-14
メモリ	プリアンブルの転送	禁止	14-14
	プリアンブル　データ	(なし)	14-14
	プリフィックスの転送	禁止	14-14
	プフィックス　データ	(なし)	14-14
	サフィックスの転送	禁止	14-14
	サフィックス　データ	(なし)	14-14
	ポストアンブルの転送	許可	14-14
	ポストアンブル　データ	CR LF (設定値 0D 0A)	14-14
BT	プリアンブルの転送	禁止	14-14
	プリアンブル　データ	(なし)	14-14
	プリフィックスの転送	禁止	14-14
	プフィックス　データ	(なし)	14-14
	サフィックスの転送	禁止	14-14
	サフィックス　データ	(なし)	14-14
	ポストアンブルの転送	許可	14-14
	ポストアンブル　データ	CR LF (設定値 0D 0A)	14-14

モード	コードタイプ/コードID/桁数	初期値	参照　章
ケーブル	コードタイプの転送	禁止	14-15
	コードIDの転送	禁止	14-15
	コードIDの位置	データの前	14-15
	桁数の転送	禁止	14-15
メモリ	コードタイプの転送	禁止	14-15
	コードIDの転送	禁止	14-15
	コードIDの位置	データの前	14-15
	桁数の転送	禁止	14-15
BT	コードタイプの転送	禁止	14-15
	コードIDの転送	禁止	14-15
	コードIDの位置	データの前	14-15
	桁数の転送	禁止	14-15

モード	アルファベット大文字小文字の変換	初期値	参照　章
ケーブル	アルファベット大文字小文字の変換	変換しない	14-16
メモリ	アルファベット大文字小文字の変換	変換しない	14-16
BT	アルファベット大文字小文字の変換	変換しない	14-16

モード	制御文字の転送	初期値	参照　章
ケーブル	制御文字の転送	禁止	14-16
メモリ	制御文字の転送	禁止	14-16
BT	制御文字の転送	禁止	14-16

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定			初期値	参照　章
UPC-A	読み取り		許可	14-17
	チェックデジット転送		許可	14-17
	アドオンの読み取り		禁止	14-17
	アドオンの確認		禁止	14-17
	アドオンの確認回数		20	14-17
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-17
	データの削除	前方から削除	0	14-17
		後方から削除	0	14-17
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-17
		挿入データ1の位置	0	14-17
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-17
		挿入データ1	(なし)	14-17
	コードIDの文字		A (設定値 41)	14-17
UPC-E	読み取り		許可	14-18
	チェックデジット転送		許可	14-18
	アドオンの読み取り		禁止	14-18
	アドオンの確認		禁止	14-18
	アドオンの確認回数		20	14-18
	13桁に変換		禁止	14-18
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-18
	データの削除	前方から削除	0	14-18
		後方から削除	0	14-18
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-18
		挿入データ1の位置	0	14-18
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-18
		挿入データ1	(なし)	14-18
	コードID	コードID	E (設定値 45)	14-18
		サブコードID	E (設定値 45)	14-18
EAN 13/ EAN 13	読み取り		許可	14-19
	チェックデジット転送		許可	14-19
	アドオンの読み取り		禁止	14-19
	アドオンの確認		なし	14-19
	アドオンの確認回数		20	14-19
	ISBN/ISSNに変換		禁止	14-19
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-19
	データの削除	前方から削除	0	14-19
		後方から削除	0	14-19
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-19
		挿入データ1の位置	0	14-19
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-19
		挿入データ1	(なし)	14-19
	コードID	コードID	F (設定値 46)	14-19
		サブコードID	F (設定値 46)	14-19
EAN 8/ EAN 8	読み取り		許可	14-20
	チェックデジット転送		許可	14-20
	アドオンの読み取り		禁止	14-20
	アドオンの確認		禁止	14-20
	アドオンの確認回数		20	14-20
	13桁に変換		禁止	14-20
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-20
	データの削除	前方から削除	0	14-20
		後方から削除	0	14-20
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-20
		挿入データ1の位置	0	14-20
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-20
		挿入データ1	(なし)	14-20
	コードID	コードID	FF (設定値 46 46)	14-20
		サブコードID	FF (設定値 46 46)	14-20

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定			初期値	参照　章
Code 39	読み取り		許可	14-21
	スタート/ストップ転送		禁止	14-21
	チェックデジット確認		禁止	14-21
	チェックデジット転送		禁止	14-21
	Code 39の形式		標準	14-21
	最小読取桁数		0	14-21
	最大読取桁数		0	14-21
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-21
	データの削除	前方から削除	0	14-21
		後方から削除	0	14-21
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-21
		挿入データ1の位置	0	14-21
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-21
		挿入データ1	(なし)	14-21
	コードID	コードID	M (設定値 4D)	14-21
		サブコードID	M (設定値 4D)	14-21
Interleaved 2 of 5	読み取り		禁止	14-22
	チェックデジット確認		禁止	14-22
	チェックデジット転送		禁止	14-22
	最小読取桁数		0	14-22
	最大読取桁数		0	14-22
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-22
	データの削除	前方から削除	0	14-22
		後方から削除	0	14-22
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-22
		挿入データ1の位置	0	14-22
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-22
		挿入データ1	(なし)	14-22
	コードID		I (設定値 49)	14-22
Industrial 2 of 5	読み取り		禁止	14-23
	チェックデジット確認		禁止	14-23
	チェックデジット転送		禁止	14-23
	最小読取桁数		0	14-23
	最大読取桁数		0	14-23
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-23
	データの削除	前方から削除	0	14-23
		後方から削除	0	14-23
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-23
		挿入データ1の位置	0	14-23
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-23
		挿入データ1	(なし)	14-23
	コードID		J (設定値 4A)	14-23
Matrix 2 of 5	読み取り		禁止	14-24
	チェックデジット確認		禁止	14-24
	チェックデジット転送		禁止	14-24
	最小読取桁数		0	14-24
	最大読取桁数		0	14-24
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-24
	データの削除	前方から削除	0	14-24
		後方から削除	0	14-24
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-24
		挿入データ1の位置	0	14-24
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-24
		挿入データ1	(なし)	14-24
	コードID		G (設定値 47)	14-24

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定			初期値	参照　章
Codabar / NW7	読み取り		許可	14-25
	スタート/ストップ転送		禁止	14-25
	スタート/ストップ転送形式		ABCD/ABCD	14-25
	スタート/ストップ同一確認		禁止	14-25
	チェックデジット確認 (MOD16)		禁止	14-25
	チェックデジット転送		禁止	14-25
	最小読取桁数		0	14-25
	最大読取桁数		0	14-25
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-25
	データの削除	前方から削除	0	14-25
		後方から削除	0	14-25
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-25
		挿入データ1の位置	0	14-25
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-25
		挿入データ1	(なし)	14-25
	コードID		N (設定値 4E)	14-25
Code 128	読み取り		許可	14-26
	転送形式		標準	14-26
	区切文字 (2つ目のFNC1)		((設定値 28)	14-26
	最小読取桁数		0	14-26
	最大読取桁数		0	14-26
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-26
	データの削除	前方から削除	0	14-26
		後方から削除	0	14-26
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-26
		挿入データ1の位置	0	14-26
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-26
		挿入データ1	(なし)	14-26
	コードID	コードID	K (設定値 4B)	14-26
		サブコードID	N (設定値 4B)	14-26
Code 93	読み取り		禁止	14-27
	チェックデジット確認		2桁	14-27
	チェックデジット転送		禁止	14-27
	最小読取桁数		0	14-27
	最大読取桁数		0	14-27
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-27
	データの削除	前方から削除	0	14-27
		後方から削除	0	14-27
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-27
		挿入データ1の位置	0	14-27
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-27
		挿入データ1	(なし)	14-27
	コードID		L (設定値 4C)	14-27
Code 11	読み取り		禁止	14-28
	チェックデジット確認		2桁	14-28
	チェックデジット転送		禁止	14-28
	最小読取桁数		0	14-28
	最大読取桁数		0	14-28
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-28
	データの削除	前方から削除	0	14-28
		後方から削除	0	14-28
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-28
		挿入データ1の位置	0	14-28
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-28
		挿入データ1	(なし)	14-28
	コードID		O (設定値 4F)	14-28

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定			初期値	参照　章
MSI	読み取り		禁止	14-29
	チェックデジット確認		Mod10	14-29
	チェックデジット転送		禁止	14-29
	最小読取桁数		0	14-29
	最大読取桁数		0	14-29
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-29
	データの削除	前方から削除	0	14-29
		後方から削除	0	14-29
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-29
		挿入データ1の位置	0	14-29
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-29
		挿入データ1	(なし)	14-29
	コードID		P (設定値 50)	14-29
Plessey	読み取り		禁止	14-30
	チェックデジット確認		禁止	14-30
	チェックデジット転送		禁止	14-30
	最小読取桁数		0	14-30
	最大読取桁数		0	14-30
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-30
	データの削除	前方から削除	0	14-30
		後方から削除	0	14-30
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-30
		挿入データ1の位置	0	14-30
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-30
		挿入データ1	(なし)	14-30
	コードID		R (設定値 52)	14-30
Telepen	読み取り		禁止	14-31
	転送形式		Numeric	14-31
	チェックデジット確認		禁止	14-31
	チェックデジット転送		禁止	14-31
	最小読取桁数		0	14-31
	最大読取桁数		0	14-31
	先頭から連続する0の削除		禁止	14-31
	データの削除	前方から削除	0	14-31
		後方から削除	0	14-31
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-31
		挿入データ1の位置	0	14-31
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-31
		挿入データ1	(なし)	14-31
	コードID		S (設定値 53)	14-31

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定			初期値	参照　章
GS1 Databar Omnidirectional	読み取り		禁止	14-32
	アプリケーションID		禁止	14-32
	先頭に]e0転送		禁止	14-32
	最終桁の転送		禁止	14-32
	データの削除	前方から削除	0	14-32
		後方から削除	0	14-32
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-32
		挿入データ1の位置	0	14-32
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-32
		挿入データ1	(なし)	14-32
	コードID		T (設定値 54)	14-32
GS1 Databar Limited	読み取り		禁止	14-33
	アプリケーションID		禁止	14-33
	先頭に]e0転送		禁止	14-33
	最終桁の転送		禁止	14-33
	データの削除	前方から削除	0	14-33
		後方から削除	0	14-33
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-33
		挿入データ1の位置	0	14-33
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-33
		挿入データ1	(なし)	14-33
	コードID		U (設定値 55)	14-33
GS1 Databar Stacked	読み取り		禁止	14-34
	アプリケーションID		禁止	14-34
	先頭に]e0転送		禁止	14-34
	最終桁の転送		禁止	14-34
	データの削除	前方から削除	0	14-34
		後方から削除	0	14-34
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-34
		挿入データ1の位置	0	14-34
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-34
		挿入データ1	(なし)	14-34
	コードID		V (設定値 56)	14-34
GS1 Databar Expanded	読み取り		禁止	14-35
	アプリケーションID		禁止	14-35
	先頭に]e0転送		禁止	14-35
	最終桁の転送		禁止	14-35
	データの削除	前方から削除	0	14-35
		後方から削除	0	14-35
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-35
		挿入データ1の位置	0	14-35
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-35
		挿入データ1	(なし)	14-35
	コードID		W (設定値 57)	14-35
GS1 Databar Expanded Stacked	読み取り		禁止	14-36
	アプリケーションID		禁止	14-36
	先頭に]e0転送		禁止	14-36
	最終桁の転送		禁止	14-36
	データの削除	前方から削除	0	14-36
		後方から削除	0	14-36
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	14-36
		挿入データ1の位置	0	14-36
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	14-36
		挿入データ1	(なし)	14-36
	コードID		X (設定値 58)	14-36

12-2 コード ID 一覧

コード ID は初期値の一覧表にも表示しています。見やすくするためにまとめた表です。

コード ID 一覧表

バーコードシンボル	コードID (ASCII)	コードIDの設定値(HEX)	サブコードID (ASCII)	サブコードIDの設定値 (HEX)
UPC-A	A	41		
UPC-E	E	45	E	45
EAN 13 / JAN 13	F	46	F	46
EAN 8 / JAN 8	FF	46 46	FF	46 46
Code 39	M	4D		
Interleaved 2 of 5	I	49		
Industrial 2 of 5	H	48		
Matrix 2 of 5	G	47		
Codabar / NW7	N	4E		
Code 128	K	4B	K	4B
Code 93	L	4C		
Code 11	O	4F		
MSI	P	50		
Plessey	R	55		
Telepen	S	53		
GS1 Databar	T	54		
GS1 Databar Limited	U	55		
GS1 Databar Stacked	V	56		
GS1 Databar Expanded	W	57		
GS1 Databar Expanded Stacked	X	58		

メモ　次の設定時、コード ID の代わりにサブコード ID を転送します。

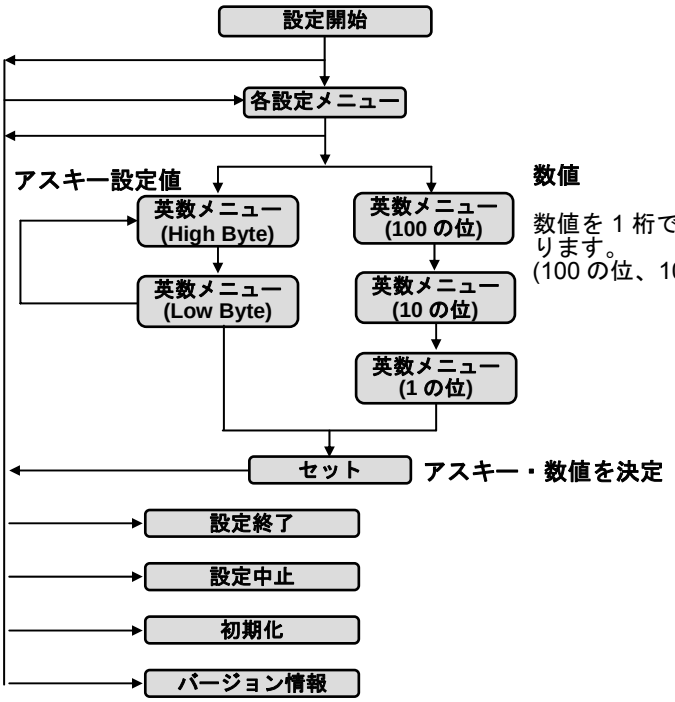
- UPC-E･･･「13 桁に変換する」設定時
- EAN13/JAN13･･･「ISBN/ISSN 形式に変換する」設定時
- EAN8/JAN8･･･「13 桁に変換する」設定時
- Code 128･･･転送形式を「UCC-128」設定時

第 13 章　設定の方法

13-1 設定について

本製品は第 14 章の設定メニュー(設定用バーコード)を読み取ると設定を変更することが出来ます。設定は本製品の不揮発性メモリに保存され、電源を切った後も保持されます。

13-2 設定フローチャート



数値を 1 桁で設定する場合、1 の位の英数メニューのみを読み取ります。
(100 の位、10 の位は不要)

13-3 設定の初期化

次の設定メニューを読み取って下さい。

設定開始→初期化

注意　初期化すると Bluetooth の設定も初期化されます。再度、ペアリングの設定をして下さい。
ドングル付きセット品も専用 USB ドングルとのペアリングの設定が初期化されます。第 8 章 8-2 を参照し、設定して下さい。

注意　初期化するとバイブレータが許可(オン)になります。→第 14 章 14-13 参照

メモ　Interleaved 2 of 5 は読み取り禁止に戻ります

13-4 基本的な設定

禁止（オフ）、許可（オン）、動作を選択する設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始→各設定→設定終了

ご案内　動作設定（ブザーなど）は、ケーブル、メモリ、BT のモードごとに設定します。
メニュー表の「モード」を確認し、設定するモードの設定メニューを読み取って下さい。
読取設定（コードタイプごとの設定）は、すべてのモード共通の設定です。

例　BT モードのすべての動作の音量を小にする
設定開始→(ブザーの音量/BT)読み取り　小→警告　小→機能操作　小→設定終了

例　メモリモードのすべての動作のバイブレータをオフにする
設定開始→(バイブレータ/メモリ)読み取り　禁止→警告　禁止→機能操作　禁止→設定終了

13-5 数値・桁数の設定

設定メニューの下か横に「→0～255(桁/0)」など数字の指示がある設定は次の順で読み取って下さい。「0～255」なら 0 から 255 の範囲で数字を設定します。カッコは設定値の「単位/初期値」です。(桁/0)なら桁を設定し、初期値は 0 桁の意味です。

英数メニューとセットは巻末にあります。

設定開始→各設定→英数メニュー1～3 桁→セット→設定終了

例　BT モードのデータ転送の速度を遅くする
設定開始→ギャップ BT 桁間隔→1→セット→ギャップ 1 文字間の転送時間→1→5→セット→設定終了

注意　設定メニュー中に指示のある桁数の最大値は論理値です。実際にはスキャナが光学的に読み取りできる範囲で読み取ります。実際に読み取るバーコードの桁数などを確認して設定して下さい。

メモ　英数メニューとセットは巻末にあります

13-6 アスキーの設定（文字・キーの設定）

アスキー(ASCII)とは文字やキーを表す 2 桁の設定値です。メニュー表に「→アスキー(8 桁)」などアスキーの指示がある設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューは巻末にあります。

設定開始→各設定→英数メニュー→英数メニュー→セット→設定終了

アスキーの設定値
英数メニュー(巻末)2 つで 1 文字（1 キー）を表します。

13-6-1 アスキーの設定値の求め方

例えば文字「A」の設定値を求める場合、アスキーコード表（巻末）から「A」を見つけます。A は行の見出し(High)が 4、列の見出し(Low)が 1 です。「A」の設定値は「41」となります。英数メニューは「4」「1」と 1 個ずつ読み取ります。

例　プリフィックスに「A (設定値 41)」を設定する

設定開始→プリフィックスのデータ→4→1→セット→設定終了

メモ　プリフィックス、サフィックス、プリアンブル、ポストアンブルについては 13-7(次項)をお読み下さい。

13-6-2 複数のアスキー設定

設定メニューに「→アスキー(8 桁)」と指示がある場合、8 桁までアスキー（文字やキー）を設定できます。

複数の文字とキーを設定する場合、英数メニューでアスキーの設定値を連続して読み取ります。

例　プレフィックスに「AB1 (設定値 41 42 31)」を設定する

設定開始→プリフィックスのデータ→4→1→4→2→3→1→セット→設定終了

13-6-3 ファンクションキーの設定

アスキーコード表（巻末）の「00」から「1F」までの設定値はファンクションキーとして転送します。

例えば設定値「09」は Tab（タブ）、設定値「0D」は Enter（改行）となります。

例　読み取りデータの後に転送するキーを「Tab (設定値 09)」に設定する

設定開始→ポストアンブルの転送　許可→ポストアンブル　データ 0→0→9→セット→設定終了

13-6-4 アスキーの消去

アスキーの設定値を「00」と設定すると、消去と同等になります。

または、初期化して初期値に戻して下さい。

メモ　英数メニューとセットは巻末にあります。

13-7 読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定

動作設定の[プリアンブルのデータ]、[プリフィックスのデータ]、[サフィックスのデータ]、[ポストアンブルのデータ]にアスキーを設定すると、すべての読み取りデータの前後に文字やキーを追加して転送します。

それぞれの設定は転送の[許可]と[禁止]の設定があります。[禁止]に設定すると転送しませんが、設定した文字やキーは保持されています。

読み取りデータ転送形式

プリアンブル	プレフィックス	バーコードタイプ	コード ID	桁数	読取データ	(コード ID)	サフィックス	ポストアンブル
1-2 桁	1-8 桁	可変	1-2 桁	2 桁		1-2 桁	1-8 桁	1-2 桁

プリアンブル	すべてのデータの前方に文字を追加する設定です。2 桁まで文字やキー設定できます。
プリフィックス	プリアンブルの次に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。
サフィックス	読み取りデータの後に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。
ポストアンブル	すべてのデータの後方に文字を追加する設定です。デー2 桁まで文字やキー設定できます。 出荷時は Enter（アスキーの CR LF 設定値 0D 0A）が設定されています。 USB HID では設定値 0D のみで Enter となります

13-7-1 設定の方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューとセットは巻末にあります。

[設定開始]→[(各設定の)転送　許可]→[(各設定の)データ]→[英数メニュー]→[英数メニュー]→[セット]→[設定終了]

アスキーの設定値

英数メニュー2 つで 1 文字（1 キー）を設定します

例 BT モードの読み取りデータの前に「A B(設定値 41 42)」を設定する

[設定開始]→(BT の)[プリフィックスの転送　許可]→[プリフィックス データ]→[4]→[1]→[4]→[2]→[セット]→[設定終了]

例 BT モードの読み取りデータの後に、Tab(設定値 09)を 3 回、Enter(設定値 0D)を 1 回転送する

※（　）は、出荷時の初期値です。この例の場合、省略してかまいません。

[設定開始]→[サフィックスの転送　許可]→[サフィックス データ]→[0]→[9]→[0]→[9]→[0]→[9]→[セット]

（→[ポストアンブルの転送　許可]→([ポストアンブル データ]→[0]→[D]→[セット]）→[設定終了]

メモ アスキーの設定値については 13-6　アスキーの設定をお読み下さい

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

13-7-2 設定の消去

アスキーを 00 に設定して下さい。（または[禁止]を設定すると、転送しなくなります。）

例 プリフィックスに設定した文字を消去する

[設定開始]→[プリフィックス データ]→[0]→[0]→[セット]→[設定終了]

13-8 バーコードタイプ、コード ID、桁数を転送する設定

動作設定にバーコードタイプ転送、コード ID 転送、桁数転送の設定があります。

これらの設定を許可に設定するとすべての読み取りデータに情報を追加して転送します。

読み取りデータ転送形式

プリアンブル	プレフィックス	バーコードタイプ	コード ID	桁数	読取データ	(コード ID)	サフィックス	ポストアンブル
1-2 桁	1-8 桁	可変	1-2 桁	2 桁		1-2 桁	1-8 桁	1-2 桁

パーコードタイプ	読み取ったバーコードの種類です。 例　Code39 のデータ 1234→(Code-39)1234 と転送します。
コード ID	読み取ったバーコードの種類を識別する 1 文字または 2 文字です。 コード ID の位置は読み取りデータの前か後を設定できます。 コード ID の一覧は第 12 章「12-2 コード ID 一覧」をお読み下さい。 例　Code128 のデータ 12345→K12345 と転送します。
桁数	読み取ったバーコードの桁数です。2 桁で転送します。 例　6 桁のデータ 123456 の場合→06123456 と転送します。

コード ID の文字の設定変更

各コードタイプのコード ID の文字の設定で、コード ID の文字を変更できます。

例　Code39 のコード ID を「Z (設定値 5A)」に設定する（初期値は M）

設定開始→(Code39)コード ID の文字→5→A→セット→設定終了

メモ　英数メニューとセットは巻末にあります

13-9　1 桁目から連続する 0（ゼロ）を削除する設定

読取設定のコードタイプごと、1 桁目から連続する 0 を削除の設定があります。許可に設定すると 1 桁目から連続する 0 を削除して、0 以外の数字・文字がある桁からデータを転送します。

例えば会員番号などのバーコードが前方（左側）を連続した 0 で埋めているとき、0 を削除して転送できます。

設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始→(1 桁目から連続する 0 を削除)許可→設定終了

例　NW7 の 1 桁目から連続する 0 を削除する

000056789010→56789010 と転送する。

設定開始→(NW7)1 桁目から連続する 0 の削除　許可→設定終了

13-10 読み取りデータの前方と後方を削除する設定

読取設定のコードタイプごとに[データの削除　前方から削除]と[データの削除　後方から削除]の設定があります。設定すると読み取りデータの前方または後方からデータを削除します。

前方から削除	1 桁目から後方に向かって設定した桁数を削除します。
後方から削除	後方から前方に向かって設定した桁数を削除します。

設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

[設定開始]→[前方から削除(後方から削除)]→[英数メニュー]→[セット]→[設定終了]

例 Code 39 の前方から 3 桁を削除する。1234567890→4567890 と転送する

[設定開始]→[(Code 39)データの削除 前方から削除]→[0]→[3]→[セット]→[設定終了]

例 Code 39 の後方から 4 桁を削除する。1234567890→123456 と転送する

[設定開始]→[(Code 39)データの削除 後方から削除]→[0]→[4]→[セット]→[設定終了]

元に戻す方法（削除しない）

次の順で次の順で設定メニューを読み取って下さい。

[設定開始]→[前方から削除(後方から削除)]→[0]→[0]→[セット]→[設定終了]

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

注意 「UPC-A」の「前方から削除」について

UPC-A(12 桁のバーコード)のみ、「前方から削除」の初期値が「1」(1 桁削除)になっています。UPC-A の先頭桁を調整するときは、下記を参照して設定して下さい。

UPC-A に設定したいこと	設定
先頭に 0 を付けて 13 桁で転送する	設定開始→前方から削除→0→セット→設定終了
UPC-A をそのまま 12 桁で転送する (出荷時の状態)	設定開始→前方から削除→1→セット→設定終了
先頭 1 桁を削除し 11 桁で転送する	設定開始→前方から削除→2→セット→設定終了

13-11 読み取りデータに文字やキーを挿入する設定

読取設定のコードタイプごとにデータの挿入メニューがあります。

挿入は 2 箇所まで設定できます。挿入する桁の位置は挿入データ 0 の位置と挿入データ 1 の位置のメニューで設定します。

挿入データ 0 の位置	1 箇所目の挿入の桁位置を設定します。 桁を 0 に設定すると、バーコードの先頭に挿入データが付きます。1 に設定すると、1 桁目の後に挿入データが付きます。
挿入データ 1 の位置	2 箇所目の挿入の桁位置です。（桁の設定は上記と同様）

挿入するデータは挿入データ 0 と挿入データ 1 のメニューで設定します。

挿入データ 0	1 箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2 桁まで設定できます。
挿入データ 1	2 箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2 桁まで設定できます。

挿入のイメージ図　1234567890 に挿入を設定する例

123	挿入データ 0 の位置 →3 を設定	456	挿入データ 1 の位置 →6 を設定	7890
	挿入データ 0 →Tab を設定		挿入データ 1 →AB を設定	

設定方法

設定メニューの読み取り方は下記の例を参照して下さい。

例 Code 39 の 3 桁目の後に Tab、6 桁目の後に A を挿入する。
1234567890→123 Tab 456AB7890 と転送する。

設定開始
→(Code 39)挿入データ 0 の位置→3→セット
→(Code 39)挿入データ 0→0→9→セット
→(Code 39)挿入データ 1 の位置→6→セット
→(Code 39)挿入データ 1→4→1→4→2→セット→設定終了

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

第 14 章　設定メニュー

14-1　初期化、設定中止、バージョン情報

設定開始

このページのメニューは設定終了が不要です

システムメニュー

モード	システムメニュー
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	初期化 *ZADE* スキャナを工場出荷時の設定に戻します。 (注)Bluetooth の設定も初期化します。初期化したら再度ペアリングしてください。 (注)バイブレータが許可(オン)になります。→第 14 章 14-13 参照
	設定中止 *ZEXT* 設定メニューを読み間違ったときなどに読み取ると、設定を中止し、設定モードを終了します。
	バージョン情報 *ZVER* メモ帳などを開いて読み取って下さい。スキャナのバージョン情報を転送します。

14-2　スキャナの操作

設定開始	このページのメニューは設定終了が不要です

充電オン/オフ　ケーブルをパソコンに接続してく下さい。

モード	充電オン/オフ
ケーブル	*ZCHG*
	充電中(充電オンのとき)にメニューを読むと充電オフになります。充電オフのときにメニューを読むと充電オンになります。

モード切替　ケーブルを外してく下さい。

モード	メモリモードに切り替える	BT モードに切り替える
メモリ	*ZTOM*	*ZMOT*
BT		

追記　モード切替の新バーコードメニュー

注 読むとモードが切り替わります。「設定開始」は不要です。ファームウェアバージョン 0001-0024 以上が対応します。
上記の従来のメニュー（設定開始→～モードに切り替え）も使えます

メモリモードへ切替	BT モードへ切替

蓄積データの転送/消去

モード	蓄積データの転送モードに入る	蓄積データを消去する
ケーブル	*ZMTX* →次に、大ボタンを押す	*ZFCA*
BT		
	読み取った後、大ボタンを押すと蓄積データを転送します。 (注)読み取っただけでは転送しません。	読み取ると、蓄積データを消去します。 ヘッダの日時は消去した日時になります。

ペアリング　ケーブルを外し、BT モードに切り替えて下さい。

モード	ペアリングモードに入る
BT	*ZPAR*
	読み取ると、スキャナの青ランプが点滅し、Bluetooth ペアリングモードに入ります。

14-3　動作設定　キーボード設定

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

キーボード配列　転送データの記号文字が正しくない場合は「日本キーボード」を設定して下さい。

モード	英語キーボード	日本キーボード
ケーブル メモリ	＊ ＊AB1C0＊	＊AB1C2＊
BT	＊ ＊AF1C0＊	＊AF1C2＊

Caps Lock

モード	オート	Caps Lock オフ	Caps Lock オン	Alt+テンキー
ケーブル メモリ	＊ ＊AB0A0＊	＊AB0A1＊	＊AB0A2＊	＊AB0A3＊
BT	（なし）	＊ ＊AF0A1＊	＊AF0A2＊	＊AF0A3＊

数字データ

モード	フルキーとして数字データを転送	テンキーとして数字データを転送
ケーブル メモリ	＊ ＊AB060＊	＊AB061＊
BT	＊ ＊AF060＊	＊AF061＊

ギャップ　文字抜けが発生するときに設定して下さい。設定するときは桁間隔 1 に設定し、1 文字間の転送時間を 10 などに設定して下さい。

モード	桁間隔	1 文字間の転送時間	1 レコード間の転送時間
ケーブル メモリ	＊ABDE0＊ →0-255(桁ごと/0)→セット→設定終了	＊ABEE0＊ →0-255(1ms/2)→セット→設定終了	＊ABFE0＊ →0-255(10ms/0)→セット→設定終了
BT (※iOS、HID)	＊AFDE0＊ →0-255(桁ごと/0)→セット→設定終了	＊AFEE0＊ →0-255(1ms/2)→セット→設定終了	＊AFFE0＊ →0-255(10ms/0)→セット→設定終了

14-4　動作設定　モード固定

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

スキャナのモード選択　設定すると、そのモードでのみ動作します。

モード	モードの選択
ケーブル＋メモリ＋BT	＊ *A40C6*
ケーブル	*A40C0*
メモリ	*A40C1*
ケーブル＋メモリ	*A40C2*
BT	*A40C3*
ケーブル＋BT	*A40C4*
メモリ＋BT	*A40C5*

14-5　動作設定　ボタンの設定

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

小ボタンの設定

モード	設定	禁止	許可
ケーブル	蓄積データの 転送モードに入る	*B8290* 転送モードに入らない。	＊ *B8292* 長押しすると転送モードに入る。 （ブザー3回→まだ長押し→ブザー1回→ボタンをはなす） 備考：転送モードになってから大ボタンを押すと転送する。
メモリ	蓄積データを 1 件消去する	*BE280* 1 件消去しない。（エイマー点灯しない）	＊ *BE293* 読み間違ったときなどに、小ボタンを押してそのバーコードを読むと蓄積データから 1 件消去する。
BT	蓄積データの 転送モードに入る	*C4290* 転送モードに入らない。	＊ *C4293* 長押しすると転送モードに入る。 （ブザー3回→まだ長押し→ブザー1回→ボタンをはなす） 備考：転送モードになってから大ボタンを押すと転送する。

小ボタン長押し＋大ボタンの設定

モード	設定	禁止	許可
ケーブル	充電オン/オフ	*B8280* 充電オン/オフしない。	＊ *B8281* 充電オン/オフする。 ケーブルモードが使えるときのみ有効です。
メモリ	蓄積データを すべて消去する	*BE280* 消去しない。	＊ *BE281* 小ボタンを長押しする。オレンジのランプが高速点滅したら、小ボタンを押したまま大ボタンを押す。→蓄積データをすべて消去する。
BT	ペアリングモードに入る	*C4280* ペアリングモードに入らない。 備考：ボタンではペアリングモードに入りませんが、設定メニューの読み取りでペアリングモードに入ることができます。	＊ *C4281* ペアリングモードに入る。

14-6　動作設定　スキャナ本体の日時設定

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

日時の設定　スキャナ本体の日時合わせの設定。

モード	日時の設定	日付の区切文字	時刻の区切文字
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	＊ZCLK＊ →数値 12 桁→セット	＊A56E2＊ →アスキー1 桁(-)→セット→設定終了	＊A57E2＊ →アスキー1 桁(:)→セット→設定終了
出荷時の設定	2000-01-01 00:00:00	-(ハイフン、設定値 2D)	:(コロン、設定値 3A)
備考	2015-03-18 10:30:57 に設定するなら、次にメニューを 150318103057、セットを読む(設定終了は不要)	/(スラッシュ)に設定するなら、次にメニューを 2、F、セット、設定終了と読む	:が＋で表示される場合、キーボード配列(第 14 章 14-3)を接続機器に合わせて設定して下さい。

日付の形式　Y(年)、M(月)、D(日)の形式。YMD の間は日付の区切文字-(ハイフン、出荷時設定)が付きます

モード	形式		
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	＊YYYYMMDD ＊A42C0＊	MMDDYYYY ＊A42C1＊	DDMMYYYY ＊A42C2＊
	MMDDYY ＊A42C3＊	DDMMYY ＊A42C4＊	

時刻の形式　h(時)、m(分)、s(秒)の形式。hms の間は時刻の区切文字:-(コロン、出荷時設定)が付きます

モード	形式		
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	＊hhmmss ＊A42A0＊	hhmm ＊A42A1＊	mmss ＊A42A2＊

14-7　動作設定　日時の転送設定

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

日時の転送　許可に設定すると読み取り日時（タイムスタンプ）を読み取りデータとともに転送します。

モード	設定	禁止	許可	オプション	
ケーブル	日付の転送	＊ *BA130*	*BA131*		
	時刻の転送	＊ *BA140*	*BA141*	日付と時刻の間のキャラクタ *BAAE2*	→アスキー1桁 (SP)→セット→設定終了
	デリミタの転送 日時とデータの間のキャラクタ	＊ *BA110*	*BA111*	デリミタのキャラクタ *BABE2*	→アスキー1桁 (SP)→セット→設定終了
	日時の位置 データの前か後	＊前 *BA010*	後 *BA011*		
メモリ	日付の転送	＊ *C0130*	*C0131*		
	時刻の転送	＊ *C0140*	*C0141*	日付と時刻の間のキャラクタ *C0AE2*	→アスキー1桁 (SP)→セット→設定終了
	デリミタの転送 日時とデータの間のキャラクタ	＊ *C0110*	*C0111*	デリミタのキャラクタ *C0BE2*	→アスキー1桁 (SP)→セット→設定終了
	日時の位置 データの前か後	＊前 *C0120*	後 *C0121*		
BT	日付の転送	＊ *C6130*	*C6131*		
	時刻の転送	＊ *C6140*	*C6141*	日付と時刻の間のキャラクタ *C6AE2*	→アスキー1桁 (SP)→セット→設定終了
	デリミタの転送 日時とデータの間のキャラクタ	＊ *C6110*	*C6111*	デリミタのキャラクタ *C6BE2*	→アスキー1桁 (SP)→セット→設定終了
	日時の位置 データの前か後	＊前 *C6120*	後 *C6121*		

読み取りデータ形式

日付(読み取り日付)	日付と時刻の間	時刻(読み取り時刻)	デリミタ	読み取りデータ	ポストアンブル
YYYY-MM-DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	バーコードデータ	CR,LF (改行)

14-8　動作設定　メモリモードの動作

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

メモリモードの転送タイプ

モード	標準動作	マスストレージ
メモリ	＊ *BE1D0*	*BE1D4*
	蓄積データをキーボードキャラクタとして転送します。	スキャナをパソコンに USB 接続すると、USB メモリのように認識します。蓄積データはテキストファイルとなります。 (注)マスストレージは USB 接続時のみ使用できます。

蓄積データの転送単位　「転送モード　標準」設定時のオプション設定

モード	すべて転送	1 件ずつ転送
メモリ	＊ *BE7C0*	*BE7C1*
BT		
	転送モードになった後、大ボタンを押すとすべての蓄積データを転送します。	転送モードになった後、大ボタンを押すたびに蓄積データを 1 件ずつ転送します。

蓄積データの自動消去　「転送モード　標準」設定時のオプション設定

モード	禁止	許可
メモリ	＊ *BE7A0*	*BE7A1*
BT		
	蓄積データを転送した後でも、蓄積データはスキャナに残ります。	蓄積データを転送した後、すべての蓄積データをスキャナから消去します。

14-8　動作設定　メモリモードの動作（続き）

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

ヘッダ/フッタの転送　ヘッダ/フッタはメモリモードが「標準モード」のみの設定です。マスストレージには付きません。

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション
メモリ	ヘッダの転送	＊BE7600＊	＊BE7601＊	禁止（オフ）に設定すると、ヘッダ内、フッタ内の文字をすべて転送しなくなります。
	フッタの転送	＊BE7700＊	＊BE7701＊	

ヘッダ内の文字の転送　ヘッダ内の文字を個別にオンオフします。転送するには上記の「ヘッダの転送」を許可にして下さい。

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション	
メモリ	<Header> の 転送	＊A46００＊	＊A4601＊	<Header>の文字変更 ＊A70E6＊	→アスキー12 桁(<Header>)→セット→設定終了
	日時の転送(注)	＊A4620＊	＊A4621＊		
	レコード件数の転送	＊A4630＊	＊A4631＊		

フッタ内の文字の転送　フッタ内の文字を個別にオンオフします。転送するには上記の「フッタの転送」を許可にして下さい。

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション	
メモリ	<Footer>の転送	＊A4700＊	＊A4701＊	<Footer>の文字変更 ＊A60E6＊	→アスキー12 桁(<Footer>)→セット→設定終了
	日時の転送(注)	＊A7620＊	＊A4721＊		
	レコード件数の転送	＊A4730＊	＊A4731＊		

ヘッダ/フッタ内の文字の形式

ヘッダの文字 (フッタの文字)	区切文字	日付　時刻(蓄積データの消去日時)	区切文字	レコード件数	ポストアンブル
<Header> (<Footer>)	SP	YYYY-MM-DD　SP　hh:mm:ss	SP	nnnnnn	CR,LF (改行)

メモ　SP（スペース）は固定で、変更できません。区切文字の前後の文字を転送しない場合、SP を転送しません。

14-9　動作設定　BT モードの動作

設定開始	設定終了

＊印は出荷時設定

Bluetooth 接続タイプ

モード	Bluetooth 接続タイプ	
BT	＊Slave (SPP) ＊C41D1＊	HID ＊C41D3＊
	Master (SPP) ＊C41D2＊	iOS (HID) ＊C41D4＊
	A-302(専用 USB ドングル) ＊C41D6＊	

MAC アドレス　Bluetooth 機器側(PC やドングル)の Bluetooth アドレスを、スキャナに設定します

モード	Master(SPP)用　MAC アドレス	A-302 専用ドングル用　MAC アドレス
BT	＊B08FE＊ →0-F,12 桁(000000000000)→セット→設定終了	＊B28FE＊ →0-F,12 桁(000000000000)→セット→設定終了
	(注)HID,iOS には使わない設定です。	専用ドングルの 12 文字を設定します。

Slave/Master 用 PIN コード

モード	PIN コード
BT	＊B00E9＊ →アスキー8 文字(1234)→セット→設定終了
	(注)HID,iOS,専用ドングルには使わない設定です。

通信時間

モード	ペアリングの時間	Bluetooth 接続の時間
BT	＊C57E0＊ →0-255(1000ms/90)→セット→設定終了	＊C5FE0＊ →10-255(1000ms/60)→セット→設定終了
	初期値は 90 秒。時間が過ぎるとペアリングモードを終了します。	初期値は 60 秒。時間が過ぎるとワイヤレス通信を切断します。

スキャナの表示名

モード	スキャナの表示名
BT	＊B14E6＊ →アスキー12 文字(SmartBt)→セット→設定終了
	初期値は SmartBt。ペアリング時、デバイスが発見するスキャナの名前です。

14-10　動作設定　スキャニング

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

スキャンモード　エイマー(読み取り光)の点灯方法です。

モード	グッドリードオフ	モーメンタリ	連続点灯	トグル
	ボタン離しても５秒点灯 読むと消灯	ボタン押す間のみ点灯 読むと消灯	ボタンを離しても点灯 読んでも点灯（注）	ボタンで点灯消灯を切替 読むと消灯
ケーブル	＊B8080＊	＊ ＊B8081＊	＊B8082＊	＊B8083＊
メモリ	＊BE080＊	＊ ＊BE081＊	＊BE082＊	＊BE083＊
BT	＊C4080＊	＊ ＊C4081＊	＊C4082＊	＊C4083＊

(注) 連続点灯でも、エイマーの点灯時間が経過すると消灯します

エイマーの点灯時間　エイマー(読み取り光)の点灯時間です

モード	エイマーの点灯時間
ケーブル	＊B9DE0＊ →5-255(1000ms/10)→セット→設定終了
メモリ	＊BFDE0＊ →5-255(1000ms/10)→セット→設定終了
BT	＊C5DE0＊ →5-255(1000ms/10)→セット→設定終了

同一コードを読み取るまでの時間　スキャンモードが連続点灯時の設定です。

モード	同一コードを読み取るまでの時間
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	＊A5AE0＊ →0-255(10ms/50)→セット→設定終了

エイマーの明るさ　エイマー(読み取り光)の明るさです

モード	エイマーの明るさ
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	＊A4EE0＊ →1-10(レベル/10)→セット→設定終了

14-10　動作設定　スキャニング（続き）

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

2 度読み防止

モード	禁止	許可
ケーブル	＊ ＊ B A 2 0 0 ＊	＊ B A 2 0 1 ＊ スキャンモードが連続点灯時、他のコードを読むか、消灯するまで同一コードを読まない
メモリ	＊ ＊ C 0 2 0 0 ＊	＊ C 0 2 0 1 ＊ 同一コードは読まない
BT	＊ ＊ C 6 2 0 0 ＊	＊ C 6 2 0 1 ＊ スキャンモードが連続点灯時、他のコードを読むか、消灯するまで同一コードを読まない

読み取り一致　　読み取りデータの正確さを向上します

モード	禁止	許可	オプション
ケーブル	＊ ＊ B A 2 1 0 ＊	＊ B A 2 1 1 ＊	読み取り一致回数 ＊ A 5 9 E 0 ＊ →1-10(回/1)→セット→設定終了
メモリ	＊ ＊ C 0 2 1 0 ＊	＊ C 0 2 1 1 ＊	
BT	＊ ＊ C 6 2 1 0 ＊	＊ C 6 2 1 1 ＊	

14-11　動作設定　ブザー　オン/オフ

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

ブザーの禁止（オフ）と許可（オン）

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション	
すべて	警告 USB 抜き差し、メモリに切替、他	＊A4540＊	＊A4541＊	(なし)	
ケーブル	読み取り	＊B8500＊	＊B8501＊	音調 ＊B98E0＊	→0-255 (100Hz/27) →セット→設定終了
	警告 メモリ転送でボタン離した後の音	＊B8510＊	＊B8511＊	鳴る長さ ＊B99E0＊	→0-255 (10ms/10) →セット→設定終了
	機能操作 メモリ転送で小ボタン長押し時の音	＊B8520＊	＊B8521＊		
メモリ	読み取り	＊BE500＊	＊BE501＊	音調 ＊BF8E0＊	→0-255 (100Hz/27) →セット→設定終了
	警告 メモリ転送でボタン離した後の音	＊BE510＊	＊BE511＊	鳴る長さ ＊BF9E0＊	→0-255 (10ms/10) →セット→設定終了
	機能操作 メモリ転送で小ボタン長押し時の音	＊BE520＊	＊BE521＊		
BT	読み取り	＊C4500＊	＊C4501＊	音調 ＊C58E0＊	→0-255 (100Hz/27) →セット→設定終了
	警告 通信確立、エラー、ペアリング開始の音	＊C4510＊	＊C4511＊	鳴る長さ ＊C59E0＊	→0-255 (10ms/10) →セット→設定終了
	機能操作 小ボタン長押しでペアリングに入る音	＊C4520＊	＊C4521＊		

14-12　動作設定　ブザー　音量

　設定開始　　設定終了　

＊印は出荷時設定

ブザーの音量

モード	設定	小	中	大	最大
すべて	警告 USB 抜き差し、メモリに切替、他	 ＊A4580＊	 ＊A4581＊	 ＊A4582＊	＊ ＊A4583＊
ケーブル	読み取り	 ＊B8480＊	 ＊B8481＊	 ＊B8482＊	＊ ＊B8483＊
	警告 メモリ転送でボタン離した後の音量	 ＊B8490＊	 ＊B8491＊	 ＊B8492＊	＊ ＊B8493＊
	機能操作 メモリ転送で小ボタン長押し時の音量	 ＊B84A0＊	 ＊B84A1＊	 ＊B84A2＊	＊ ＊B84A3＊
メモリ	読み取り	 ＊BE480＊	 ＊BE481＊	 ＊BE482＊	＊ ＊BE483＊
	警告 2 度読み防止で同一コード読み取り時、他	 ＊BE490＊	 ＊BE491＊	 ＊BE492＊	＊ ＊BE493＊
	機能操作 大ボタン長押しでBTに切り替わる音量	 ＊BE4A0＊	 ＊BE4A1＊	 ＊BE4A2＊	＊ ＊BE4A3＊
BT	読み取り	 ＊C4480＊	 ＊C4481＊	 ＊C4482＊	＊ ＊C4483＊
	警告 通信確立、エラー、ペアリング開始の音量	 ＊C4490＊	 ＊C4491＊	 ＊C4492＊	＊ ＊C4493＊
	機能操作 小ボタン長押しでペアリングに入る音量	 ＊C44A0＊	 ＊C44A1＊	 ＊C44A2＊	＊ ＊C44A3＊

14-13　動作設定　バイブレータ

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

バイブレータの禁止（オフ）と許可（オン）

メモ　(注)バイブレータはすべてオフに設定して出荷しています。**初期化すると許可(オン)**になります。

Bluetooth ペアリング時の PIN コード読み取りのバイブレータ・オンは「**BT 警告 オン(C4611)**」です。

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション	
すべて	警告	＊ *A4550*	*A4551*	(なし)	
	設定時	＊ *A4570*	*A4571*	(なし)	
ケーブル (注)	読み取り	*B8600*	＊ *B8601*	バイブの長さ *B9AE0*	→0-255 (10ms/5) →セット→設定終了
	警告 メモリ転送でボタン離した後のバイブ	*B8610*	＊ *B8611*		
	機能操作 メモリ転送で小ボタン長押し時のバイブ	*B8620*	＊ *B8621*		
メモリ (注)	読み取り	*BE600*	＊ *BE601*	バイブの長さ *BFAE0*	→0-255 (10ms/5) →セット→設定終了
	警告 メモリ転送でボタン離した後のバイブ	*BE610*	＊ *BE611*		
	機能操作 メモリ転送で小ボタン長押し時のバイブ	*BE620*	＊ *BE621*		
BT (注)	読み取り	*C4600*	＊ *C4601*	バイブの長さ *C5AE0*	→0-255 (10ms/5) →セット→設定終了
	警告 通信確立、エラー、ペアリング開始、のバイブ	*C4610* PIN コード読取のバイブ**オフ**	＊ *C4611* PIN コード読取のバイブ**オン**		
	機能操作 小ボタン長押し,ペアリングに入るバイブ	*C4620*	＊ *C4621*		

14-14　動作設定　プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブル

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブルの転送

モード	設定	禁止	許可	オプション	
ケーブル	プリアンブルの転送	＊ *BA000*	*BA001*	プリアンブル データ *BACE3*	→アスキー2 桁→セット→設定終了
	プリフィックスの転送	＊ *BA020*	*BA021*	プリフィックス データ *BB0E5*	→アスキー8 桁→セット→設定終了
	サフィックスの転送	＊ *BA030*	*BA031*	サフィックス データ *BB8E5*	→アスキー8 桁→セット→設定終了
	ポストアンブルの転送	*BA010*	＊ *BA011*	ポストアンブル データ *BAEE3*	→アスキー2 桁(CR,LF)→セット→設定終了
メモリ	プリアンブルの転送	＊ *C00000*	*C00001*	プリアンブル データ *C0CE3*	→アスキー2 桁→セット→設定終了
	プリフィックスの転送	＊ *C00020*	*C00021*	プリフィックス データ *C10E5*	→アスキー8 桁→セット→設定終了
	サフィックスの転送	＊ *C00030*	*C00031*	サフィックス データ *C18E5*	→アスキー8 桁→セット→設定終了
	ポストアンブルの転送	*C00010*	＊ *C00011*	ポストアンブル データ *C0EE3*	→アスキー2 桁(CR,LF)→セット→設定終了
BT	プリアンブルの転送	＊ *C60000*	*C60001*	プリアンブル データ *C6CE3*	→アスキー2 桁→セット→設定終了
	プリフィックスの転送	＊ *C60020*	*C60021*	プリフィックス データ *C70E5*	→アスキー8 桁→セット→設定終了
	サフィックスの転送	＊ *C60030*	*C60031*	サフィックス データ *C78E5*	→アスキー8 桁→セット→設定終了
	ポストアンブルの転送	*C60010*	＊ *C60011*	ポストアンブル データ *C6EE3*	→アスキー2 桁(CR,LF)→セット→設定終了

14-15　動作設定　コードタイプ/コード ID/桁数

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

コードタイプ/コード ID/桁数の転送

モード	設定	禁止	許可
ケーブル	コードタイプの転送	＊ *BA070*	*BA071*
	コード ID の転送	＊ *BA040*	*BA041*
	コード ID の位置 データの前か後	＊前 *BA050*	後 *BA051*
	桁数の転送	＊ *BA060*	*BA061*
メモリ	コードタイプの転送	＊ *C0070*	*C0071*
	コード ID の転送	＊ *C0040*	*C0041*
	コード ID の位置 データの前か後	＊前 *C0050*	後 *C0051*
	桁数の転送	＊ *C0060*	*C0061*
BT	コードタイプの転送	＊ *C6070*	*C6071*
	コード ID の転送	＊ *C6040*	*C6041*
	コード ID の位置 データの前か後	前 *C6050*	後 *C6051*
	桁数の転送	＊ *C6060*	*C6061*

14-16　動作設定　アルファベット大文字小文字の変換/制御文字

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

アルファベット大文字小文字の変換

モード	変換しない	大小を逆に変換	全て小文字に変換	全て大文字に変換
ケーブル	＊ *BA380*	*BA381*	*BA382*	*BA383*
メモリ	＊ *C0380*	*C0381*	*C0382*	*C0383*
BT	＊ *C6380*	*C6381*	*C6382*	*C6383*

制御文字の転送　許可に設定すると、読み取りデータ内のアスキー制御文字を転送します

モード	禁止	許可
ケーブル	＊ *BA100*	*BA101*
メモリ	＊ *C0100*	*C0101*
BT	＊ *C6100*	*C6101*

14-17　読取設定 UPC-A

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止 *D00000*	＊許可 *D00001*
チェックデジット転送	禁止 *D00070*	＊許可 *D00071*
アドオンの読み取り	＊禁止 *D01190*　2 桁 *D01191*	5 桁 *D01192*　2 桁と 5 桁 *D01193*
アドオンの確認	＊禁止 *D00010*	許可 *D00011*
アドオンの確認回数	*A58E0* →0-255(回/20)→セット→設定終了	
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 *D00060*	許可 *D00061*
データの削除 データの前か後	前方から削除 *D14E0* →0-255(桁/1)→セット→設定終了	後方から削除 *D15E0* →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 *D16E0* →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 *D17E0* →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 *D18E3* →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 *D1AE3* →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 *D1CE3* →アスキー2 文字(A)→セット→設定終了	
EAN 13 / JAN 13 に強制変換 (注)ファームウェアバージョン 0001-0023 以上が対応	＊禁止 *D00020*	許可 *D00021*

メモ　「EAN 13 / JAN 13 に強制変換」を許可に設定後、UPC-A(12 桁)を読み取ると先頭に 0 を追加し 13 桁で転送します。

設定後、コードタイプの転送を許可に設定すると UPC-A のコードタイプは(EAN-13)を転送します。また、コード ID の転送を許可に設定すると UPC-A のコード ID は EAN 13 / JAN 13 のコード ID「F」を転送します。

関連する章：12-2、13-8、14-15

14-18　読取設定 UPC-E

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止 ＊D2000＊	＊許可 ＊D2001＊
チェックデジット転送	禁止 ＊D2070＊	＊許可 ＊D2071＊
アドオンの読み取り	＊禁止 ＊D2190＊ 2 桁 ＊D2191＊	5 桁 ＊D2192＊ 2 桁と 5 桁 ＊D2193＊
アドオンの確認	＊禁止 ＊D2010＊	許可 ＊D2011＊
アドオンの確認回数	＊A58E0＊ →0-255(回/20)→セット→設定終了	
13 桁に変換	＊禁止 ＊D2020＊	許可 ＊D2021＊
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊D2060＊	許可 ＊D2061＊
データの削除 データの前か後	前方から削除 ＊D34E0＊ →0-255(桁/1)→セット→設定終了	後方から削除 ＊D35E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊D36E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊D37E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊D38E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊D3AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊D3CE3＊ →アスキー2 文字(E)→セット→設定終了	サブコード ID の文字 ＊D3EE3＊ →アスキー2 文字(E)→セット→設定終了 13 桁に変換を許可にしたときの ID

14-19　読取設定 EAN-13/JAN-13

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止 ＊D4000＊	＊許可 ＊D4001＊
チェックデジット転送	禁止 ＊D4070＊	＊許可 ＊D4071＊
アドオンの読み取り	＊禁止 ＊D4190＊ 2 桁 ＊D4191＊	5 桁 ＊D4192＊ 2 桁と 5 桁 ＊D4193＊
アドオンの確認	＊禁止 ＊D4010＊	許可 ＊D4011＊
アドオンの確認回数	＊A58E0＊ →0-255(回/20)→セット→設定終了	
ISBN/ISSN に変換	＊禁止 ＊D4020＊	許可 ＊D4021＊
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊D4060＊	許可 ＊D4061＊
データの削除	前方から削除 ＊D54E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊D55E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊D56E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊D57E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊D58E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊D5AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊D5CE3＊ →アスキー2 文字(F)→セット→設定終了	サブコード ID の文字 ＊D5EE3＊ →アスキー2 文字(F)→セット→設定終了 ISBN/ISSN 変換を許可にしたときの ID

14-20　読取設定 EAN-8/JAN-8

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止 ＊D6000＊	＊許可 ＊D6001＊
チェックデジット転送	禁止 ＊D6070＊	＊許可 ＊D6071＊
アドオンの読み取り	＊禁止 ＊D6190＊ 2 桁 ＊D6191＊	5 桁 ＊D4192＊ 2 桁と 5 桁 ＊D6193＊
アドオンの確認	＊禁止 ＊D6010＊	許可 ＊D6011＊
アドオンの確認回数	＊A58E0＊ →0-255(回/20)→セット→設定終了	
13 桁に変換	＊禁止 ＊D6020＊	許可 ＊D6021＊
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊D6060＊	許可 ＊D6061＊
データの削除	前方から削除 ＊D74E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊D75E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊D76E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊D77E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊D78E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊D7AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊D7CE3＊ →アスキー2 文字(FF)→セット→設定終了	サブコード ID の文字 ＊D7EE3＊ →アスキー2 文字(FF)→セット→設定終了 13 桁変換を許可にしたときの ID

14-21　読取設定 Code 39

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止 ＊D8000＊	＊許可 ＊D8001＊
スタート/ストップ転送	＊禁止 ＊D8030＊	許可 ＊D8031＊
チェックデジット確認	＊禁止 ＊D8180＊	許可 ＊D8181＊
チェックデジット転送	＊禁止 ＊D8070＊	許可 ＊D8071＊
Code 39 の形式	＊標準 ＊D8190＊	Full ASCII Code 39 ＊D8191＊
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 ＊D92E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数 ＊D93E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊D8060＊	許可 ＊D8061＊
データの削除	前方から削除 ＊D94E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊D95E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊D96E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊D97E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊D98E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊D9AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊D9CE3＊ →アスキー2 文字(M)→セット→設定終了	サブコード ID の文字 ＊D9EE3＊ →アスキー2 文字(M)→セット→設定終了 Full ASCII Code39 の ID

14-22　読取設定 Interleaved 2 of 5

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	＊禁止 ＊ D E 0 0 0 ＊	許可 ＊ D E 0 0 1 ＊
チェックデジット確認	＊禁止 ＊ D E 1 8 0 ＊	許可 ＊ D E 1 8 1 ＊
チェックデジット転送	＊禁止 ＊ D E 0 7 0 ＊	許可 ＊ D E 0 7 1 ＊
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 ＊ D F 2 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数 ＊ D F 3 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊ D E 0 6 0 ＊	許可 ＊ D E 0 6 1 ＊
データの削除	前方から削除 ＊ D F 4 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊ D F 5 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊ D F 6 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊ D F 7 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊ D F 8 E 3 ＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊ D F A E 3 ＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊ D 9 C E 3 ＊ →アスキー2 文字(I)→セット→設定終了	

14-23　読取設定 Industrial 2 of 5

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	＊禁止 *E0000*	許可 *E0001*
チェックデジット確認	＊禁止 *E0180*	許可 *E0181*
チェックデジット転送	＊禁止 *E0070*	許可 *E0071*
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 *E12E0* →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数 *E13E0* →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 *E0060*	許可 *E0061*
データの削除	前方から削除 *E14E0* →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 *E15E0* →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 *E16E0* →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 *E17E0* →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 *E18E3* →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 *E1AE3* →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 *E1CE3* →アスキー2 文字(J)→セット→設定終了	

14-24　読取設定 Matrix 2 of 5

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	＊禁止 ＊E2000＊	許可 ＊E2001＊
チェックデジット確認	＊禁止 ＊E2180＊	許可 ＊E2181＊
チェックデジット転送	＊禁止 ＊E2070＊	許可 ＊E2071＊
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 ＊E32E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数 ＊E33E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊E2060＊	許可 ＊E2061＊
データの削除	前方から削除 ＊E34E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊E35E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊E36E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊E37E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊E38E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊E3AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊E3CE3＊ →アスキー2 文字(G)→セット→設定終了	

14-25　読取設定 Codabar / NW7

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止 ＊ D C 0 0 0 ＊	＊許可 ＊ D C 0 0 1 ＊
スタート/ストップ転送	＊禁止 ＊ D C 0 3 0 ＊	許可 ＊ D C 0 3 1 ＊
スタート/ストップ転送形式	＊ABCD/ABCD ＊ D C 1 A 0 ＊ abcd/abcd ＊ D C 1 A 1 ＊	ABCD/TN*E ＊ D C 1 A 2 ＊ abcd/tn*e ＊ D C 1 A 2 ＊
スタート/ストップ同一確認 許可はスタートとストップが同一のときのみ読み取る	＊禁止 ＊ D C 0 2 0 ＊	許可 ＊ D C 0 2 1 ＊
チェックデジット確認 MOD16 のチェックデジットを確認します	＊禁止 ＊ D C 1 8 0 ＊	許可 ＊ D C 1 8 1 ＊
チェックデジット転送	＊禁止 ＊ D C 0 7 0 ＊	許可 ＊ D C 0 7 1 ＊
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 ＊ D D 2 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数 ＊ D D 3 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊ D C 0 6 0 ＊	許可 ＊ D C 0 6 1 ＊
データの削除	前方から削除 ＊ D D 4 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊ D D 5 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊ D D 6 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊ D D 7 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊ D D 8 E 3 ＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊ D D A E 3 ＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊ D D C E 3 ＊ →アスキー2 文字(N)→セット→設定終了	

14-26　読取設定 Code 128

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	禁止 ＊D A 0 0 0＊	＊許可 ＊D A 0 0 1＊	
転送形式 メモ GS1-128 の設定はファームウェアバージョン 0001-0014 以上が対応します。	＊標準 ＊D A 1 A 0＊	UCC-128 ＊D A 1 A 1＊ GS1-128 を読むと先頭に]C1 を付け,2 つ目の FNC1 を区切文字に変換します	GS1-128 ＊D A 1 A 2＊ GS1-128 を読むと AI に( )を付けて転送します。 カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 14 章 14-3)を適切に設定して下さい。
区切文字		区切文字　(UCC-128 用) ＊D 9 8 E 3＊ →アスキー1 文字( )→セット→設定終了	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 ＊D B 2 E 0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数 ＊D B 3 E 0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊D A 0 6 0＊	許可 ＊D A 0 6 1＊	
データの削除	前方から削除 ＊D B 4 E 0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊D B 5 E 0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊D B 6 E 0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊D B 7 E 0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ 0 ＊D B 8 E 3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊D B A E 3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	
コード ID	コード ID の文字 ＊D B C E 3＊ →アスキー2 文字(K)→セット→設定終了	サブコード ID の文字 ＊D 9 E E 3＊ →アスキー2 文字(K)→セット→設定終了 UCC-128、GS1-128 の ID	

14-27　読取設定 Code 93

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	＊禁止 ＊E4000＊	許可 ＊E4001＊	
チェックデジット確認	禁止 ＊E4180＊	1桁 ＊E4181＊	＊2桁 ＊E4182＊
チェックデジット転送	＊禁止 ＊E4070＊	許可 ＊E4071＊	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 ＊E52E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数 ＊E53E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊E4060＊	許可 ＊E4061＊	
データの削除	前方から削除 ＊E54E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊E55E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊E56E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊E57E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ 0 ＊E58E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊E5AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	
コード ID	コード ID の文字 ＊E5CE3＊ →アスキー2 文字(L)→セット→設定終了		

14-28　読取設定 Code 11

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	＊禁止 ＊E60000＊	許可 ＊E60001＊	
チェックデジット確認	禁止 ＊E61180＊	1桁 ＊E61181＊	＊2桁 ＊E61182＊
チェックデジット転送	＊禁止 ＊E60070＊	許可 ＊E60071＊	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 ＊E72E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数 ＊E73E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊E60060＊	許可 ＊E60061＊	
データの削除	前方から削除 ＊E74E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊E75E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊E76E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊E77E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ 0 ＊E78E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊E7AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	
コード ID	コード ID の文字 ＊E7CE3＊ →アスキー2 文字(O)→セット→設定終了		

14-29　読取設定 MSI

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	＊禁止 ＊E8000＊	許可 ＊E8001＊
チェックデジット確認	禁止 ＊E8180＊ ＊Mod10 ＊E8181＊	Mod10/10 ＊E8182＊ Mod11/10 ＊E8183＊
チェックデジット転送	＊禁止 ＊E8070＊	許可 ＊E8071＊
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 ＊E92E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数 ＊E93E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊E8060＊	許可 ＊E8061＊
データの削除	前方から削除 ＊E94E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊E95E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊E96E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊E97E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊E98E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊E9AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊E9CE3＊ →アスキー2 文字(P)→セット→設定終了	

14-30　読取設定 Plessey

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	＊禁止 ＊ E A 0 0 0 ＊	許可 ＊ E A 0 0 1 ＊
チェックデジット確認	＊禁止 ＊ E A 1 8 0 ＊	許可 ＊ E 8 1 8 1 ＊
チェックデジット転送	＊禁止 ＊ E A 0 7 0 ＊	許可 ＊ E A 0 7 1 ＊
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 ＊ E B 2 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数 ＊ E B 3 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊ E A 0 6 0 ＊	許可 ＊ E A 0 6 1 ＊
データの削除	前方から削除 ＊ E B 4 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊ E B 5 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊ E B 6 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊ E B 7 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊ E B 8 E 3 ＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊ E B A E 3 ＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊ E B C E 3 ＊ →アスキー2 文字(R)→セット→設定終了	

14-31　読取設定 Telepen

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	＊禁止 ＊ E C 0 0 0 ＊	許可 ＊ E C 0 0 1 ＊	
転送形式	＊Numeric ＊ E C 1 9 0 ＊	ASCII ＊ E C 1 9 1 ＊	自動 ＊ E C 1 2 2 ＊
チェックデジット確認	＊禁止 ＊ E C 1 8 0 ＊	許可 ＊ E C 1 8 1 ＊	
チェックデジット転送	＊禁止 ＊ E C 0 7 0 ＊	許可 ＊ E C 0 7 1 ＊	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 ＊ E D 2 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数 ＊ E D 3 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する 0 の削除	＊禁止 ＊ E C 0 6 0 ＊	許可 ＊ E C 0 6 1 ＊	
データの削除	前方から削除 ＊ E D 4 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊ E D 5 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊ E D 6 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊ E D 7 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ 0 ＊ E D 8 E 3 ＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊ E D A E 3 ＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	
コード ID	コード ID の文字 ＊ E D C E 3 ＊ →アスキー2 文字(S)→セット→設定終了		

14-32　読取設定 GS1 Databar Omnidirectional/GS1 データバー標準型

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	＊禁止 ＊ E E 0 0 0 ＊	許可 ＊ E E 0 0 1 ＊
アプリケーション識別子の転送 許可はカッコ付きで先頭に(01)を転送します。 メモ 禁止はファームウェアのバージョンによって動作が異なります	＊禁止 ＊ E E 0 4 0 ＊ バージョン 0001-0014 以上:先頭 01 を転送する バージョン 0001-0010 以下:先頭 01 を転送しない	許可 ＊ E E 0 4 1 ＊ カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 14 章 14-3)を適切に設定して下さい。
先頭に]e0 を転送	＊禁止 ＊ E E 0 5 0 ＊	許可 ＊ E E 0 5 1 ＊
最終桁の転送	＊禁止 ＊ E E 0 7 0 ＊	許可 ＊ E E 0 7 1 ＊
データの削除	前方から削除 ＊ E B 4 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊ E F 5 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊ E F 6 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊ E F 7 E 0 ＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊ E F 8 E 3 ＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊ E F A E 3 ＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊ E F C E 3 ＊ →アスキー2 文字(T)→セット→設定終了	

メモ　＜バージョン 0001-0014 以上＞　先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定　→　次の設定をして下さい。

設定開始→前方から削除→2→セット→設定終了

（設定後、元に戻す場合　設定開始→前方から削除→0→セット→設定終了）

2

0

セット

14-33　読取設定 GS1 Databar Limted/GS1 データバー限定型

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	＊禁止 ＊F00000＊	許可 ＊F00001＊
アプリケーション識別子の転送 許可はカッコ付きで先頭に(01)を転送します。 メモ 禁止はファームウェアのバージョンによって動作が異なります	＊禁止 ＊F00040＊ バージョン 0001-0014 以上:先頭 01 を転送する バージョン 0001-0010 以下:先頭 01 を転送しない	許可 ＊F00041＊ カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 14 章 14-3)を適切に設定して下さい。
先頭に]e0 を転送	＊禁止 ＊F00050＊	許可 ＊F00051＊
最終桁の転送	＊禁止 ＊F00070＊	許可 ＊F00071＊
データの削除	前方から削除 ＊F14E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊F15E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊F16E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊F17E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊F18E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊F1AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊F1CE3＊ →アスキー2 文字(U)→セット→設定終了	

メモ　＜バージョン 0001-0014 以上＞　先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定　→　次の設定をして下さい。

設定開始→前方から削除→2→セット→設定終了

（設定後、元に戻す場合　設定開始→前方から削除→0→セット→設定終了）

2

0

セット

14-34　読取設定 GS1 Databar Stacked/GS1 データバー標準二層型

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	＊禁止 ＊F2000＊	許可 ＊F2001＊
アプリケーション識別子の転送 許可はカッコ付きで先頭に(01)を転送します。 メモ 禁止はファームウェアのバージョンによって動作が異なります	＊禁止 ＊F2040＊ バージョン 0001-0014 以上:先頭 01 を転送する バージョン 0001-0010 以下:先頭 01 を転送しない	許可 ＊F2041＊ カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 14 章 14-3)を適切に設定して下さい。
先頭に]e0 を転送	＊禁止 ＊F2050＊	許可 ＊F2051＊
最終桁の転送	＊禁止 ＊F2070＊	許可 ＊F2071＊
データの削除	前方から削除 ＊F34E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊F35E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊F36E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊F37E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊F38E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊F3AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊F3CE3＊ →アスキー2 文字(V)→セット→設定終了	

メモ　＜バージョン 0001-0014 以上＞　先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定　→　次の設定をして下さい。

設定開始→前方から削除→2→セット→設定終了

（設定後、元に戻す場合　設定開始→前方から削除→0→セット→設定終了）

2

0

セット

14-35　読取設定 GS1 Databar Expanded/GS1 データバー拡張型

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	＊禁止 ＊F4000＊	許可 ＊F4001＊
アプリケーション識別子の転送 許可はカッコ付きで先頭に(01)を転送します。 メモ 禁止はファームウェアのバージョンによって動作が異なります。	＊禁止 ＊F4040＊ バージョン 0001-0014 以上:先頭 01 を転送する バージョン 0001-0010 以下:先頭 01 を転送しない	許可 ＊F4041＊ カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 14 章 14-3)を適切に設定して下さい。
先頭に]e0 を転送	＊禁止 ＊F4050＊	許可 ＊F4051＊
最終桁の転送	＊禁止 ＊F4070＊	許可 ＊F4071＊
データの削除	前方から削除 ＊F54E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊F55E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊F56E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊F57E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊F58E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊F5AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊F5CE3＊ →アスキー2 文字(W)→セット→設定終了	

メモ　＜バージョン 0001-0014 以上＞　先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定　→　次の設定をして下さい。

設定開始→前方から削除→2→セット→設定終了

（設定後、元に戻す場合　設定開始→前方から削除→0→セット→設定終了）

2

0

セット

14-36　読取設定 GS1 Databar Expanded Stacked/GS1 データバー拡張多層型

設定開始　　設定終了

＊印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	＊禁止 ＊F6000＊	許可 ＊F6001＊
アプリケーション識別子の転送 許可はカッコ付きで先頭に(01)を転送します。 メモ 禁止はファームウェアのバージョンによって動作が異なります。	＊禁止 ＊F6040＊ バージョン 0001-0014 以上:先頭 01 を転送する バージョン 0001-0010 以下:先頭 01 を転送しない	許可 ＊F6041＊ カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 14 章 14-3)を適切に設定して下さい。
先頭に]e0 を転送	＊禁止 ＊F6050＊	許可 ＊F6051＊
最終桁の転送	＊禁止 ＊F6070＊	許可 ＊F6071＊
データの削除	前方から削除 ＊F74E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除 ＊F75E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 0 の位置 ＊F76E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置 ＊F77E0＊ →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 0 ＊F78E3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 1 ＊F7AE3＊ →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字 ＊F7CE3＊ →アスキー2 文字(X)→セット→設定終了	

メモ　＜バージョン 0001-0014 以上＞　先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定　→　次の設定をして下さい。

設定開始→前方から削除→2→セット→設定終了

（設定後、元に戻す場合　設定開始→前方から削除→0→セット→設定終了）

2

0

セット

第 15 章　保証と修理

15-1 保証

■保証について

本製品には保証書が添付されておりません。ただし、本製品に表示している製造番号（シリアルナンバー、S/N）によって保証期間を管理し、保証規定に基づく保証対象製品としております。

■保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

■保証期間

お買い上げ日から 1 年間

■無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
2. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
3. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
4. お客様が、当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
5. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
6. 火災、地震、風水害、落雷およびそのほかの天災地変、または異常電圧などの外部的
   要因によって故障または破損した場合。
7. 消耗品(ケーブル、電池)は無償保証の対象外のため有償交換となります。
8. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

■保証範囲

・保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたません。
・修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。
・保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

15-2 修理

●修理について

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができているかをご確認ください。
症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。
修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

●修理依頼・製品の送付先について

修理をご依頼になる場合は、まず弊社にご相談ください。

●修理依頼書の入手先

弊社ホームページからダウンロードしてください。

お問い合わせ先

株式会社エイポック
ホームページ　http://www.a-poc.co.jp/
メール　info_mail@a-poc.co.jp
〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第 2 ビル 5F
電話　045-508-5201　　FAX　045-501-5202

付録 A　サンプルバーコード

UPC-A

UPC-E

JAN-13(EAN-13)

JAN-8(EAN-8)

Code 39

CODE39-1Q

Interleaved 2 of 5 (ITF) ※

14512345678903

※出荷時、読み取りは禁止

※出荷時、最小読取桁数は 6 桁

Codabar / NW7

A1234567890A

Code 128

Code128-567890

GS1 Databar Limited　GS1 データバー限定型　※

(01)04598765432113

※出荷時、読み取りは禁止

※出荷時、アプリケーション識別子(01)の転送は禁止

※出荷時、最終桁の転送は禁止

印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。

付録 B 英数メニュー

アスキーコード表

H / L	0(*)	1(*)	0(**)	1(**)
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	ESC	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

*USB キーボードインターフェースが対応

H / L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	¥	l	|
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL